模型情報９月号　昭和60年9月1日発行（毎月1回1日発行）　第６巻第９号通巻73号　昭和59年10月26日第３種郵便物認可

Monthly BANDAI Making Journal

模型情報®

9
1985

100yen



エキサイティングディオラマ
サイコガンダム

ファンタジー ショット
島津冴子

スペシャルデザインワーク
成田 亨

伊藤和典原作・SF小説
スパイラルゾーン

表紙イラストレーション
開田裕治

完成迫る！ヤマタノオロチの逆襲（ダイコンフィルム）

「快傑の―てんき」「愛国戦隊大日本」そして「帰ってきたウルトラマン」等の一連の作品で注目を集めているダイコンフィルムが、今度は初の16ミリ作品に挑戦している。

8月10日の「ワンダーフェスティバル」会場において、予告編の上映がされた「ヤマタノオロチの逆襲」がそれ。もう知る人ぞ知る作品で、完成を一日千秋の思いで待っているファンも多いのではないかな。

古代神話の怪物、ヤマタノオロチ（実は宇宙人の侵略兵器）が現代日本に甦り、山陰の地方都市を襲う。物語は破天荒に、コミカルに、そしてハチャメチャに進む特撮コメディだそうだ。エモーションがビデオ化権を取得したので発売をお楽しみに。



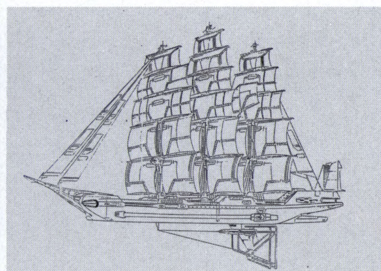
光子帆船スターライト号の模型化が決定！

8月10日より公開され話題となっている「オーディーン」は、あの「宇宙戦艦ヤマト」でおなじみの西崎義展プロデューサーによる作品だ。

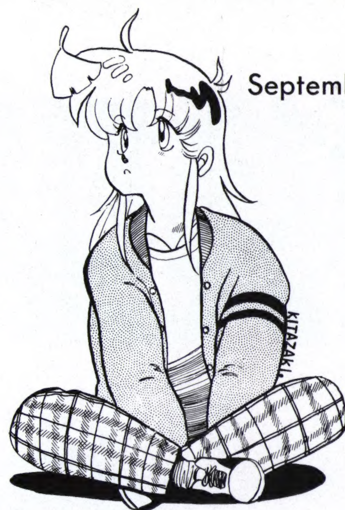
重力庶断航法によって12色に変化をしながら宇宙を航行する、光子帆船スターライト号の美しさは、見どころのひとつ。

この「オーディーン」の主役とも言うべき、スターライト号を、バンダイでは模型化する事を決定したので発表します。スケール等、まだ完全に決定はされていませんが、あのスターライト号の美しさを、どう表現するかがポイントになりそう。

発売は、年末になりそうだから「オーディーン」ファンには少々まちどうしいかもしれないね。

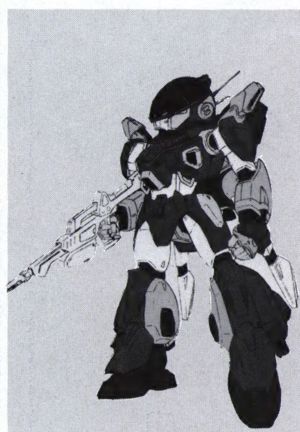


カット・北崎　拓美



MJ FORUM

10月新作アニメーション「SPTレイズナー」



10月から放映開始される日本サンライズ制作の新番組が決定した。番組タイトルは「SPTレイズナー」。SPTとは、スーパー・パワード・トレーサーの略称で、コンピューターによって人間の行動を完全に増幅することができるメカを言う。

このSPTは、13体のプロトタイプとそのバリエーションが存在し、番組の中で活躍する。メカデザインは「ガンダム」をはじめとする日本サンライズ作品ではおなじみの大河原邦男氏。キャラデザインは、谷口守泰氏。高橋良輔監督の注目作品です。

さて、バンダイでは、この「SPTレイズナー」の模型化を決定しました。まだ、スケールとかキットの仕様は未定で、現在検討中です。

「SPTレイズナー」については現在発売中の各アニメ誌にも載ってますし、MJもこれから情報が入りしだい誌上で公開していきますから注目して下さい。

Zガンダム・マクロス、そしてこの新番組「SPTレイズナー」と模型ファンもなかなか忙しいですね。

SFXとアニメーションのニュー・リリース紹介







渡洋史演ずるブーメランが存なくなった代りに、コズミック・ハーレーなどの決め技も新しく登場した「巨獣特捜ジャスピオン」。ヒット曲集に続いて、渡辺宙明作曲のBGM集、「巨獣特捜ジャスピオン音楽集」（定価2500円）が発売中だ。8曲のBGMに、ヘンリーの歌う〈おれが正義だ！ジャスピオン〉と〈銀河狼ジャスピオン〉の英語ヴァージョンがオマケに入っているコレクターズ・アイテムだ。

渡辺宙明と言えば「宇宙刑事」と呼ばれる程、代表作になってしまったが、その「宇宙刑事」シリーズ全3作からセレクトしたベスト集「SFXスペシャル・宇宙刑事グラフィティ」も発売中。中に入っている写真集も豪華でお買得。

以上はコロムビア・レコードだが、スターチャイルド(キング)からも「SF特撮TV音楽全集6・悪魔くん」がコレクターズ・アイテムとして発売されている。ビデオが出て再び注目されている「悪魔くん」の貴重なBGMコレクションです。



そして忘れてはならないのが、Zガンダムが登場してオープニング＆エンディングが変った「機動戦士Zガンダム」の新曲「水の星へ愛をこめて」（定価700円）。前作同様、ニール・アダムスの曲で新人の森口博子チャンが歌います。水の星とは何を意味するのかな？

Zガンダム・プレゼント当選者――●奈良・田中茂男●香川・中村清一●東京・本高徹●埼玉・清水耕太郎●東京・川島成孝●茨城・植田弘樹●北海道・高橋智哉●姫路・孝橋健次●岡山・藤原佳余子●奈良・小林敏雄●鹿児島・川辺博和●福岡・寺田格●東京・板倉勲●千葉・岩崎靖幸●愛知・中田東一●東京・桜井遊●静岡・三浦慎一郎●東京・山本敬三●千葉・湯本賢一●東京・大友啓史●愛知・加藤謙一●兵庫・木下智仁●奈良・福島英人●大分・赤嶺道明●東京・奥野身一●広島・竹森功一●神奈川・石田謙一●愛知・境克宣●三重・片山貴史●熊本・矢方伸広●鎌倉・本部真太郎●福井・井之上明正●横浜・吉田和弘●札幌・南雲孝章●茨城・長谷川仁●広島・渋谷健治●徳島・佐藤裕●沖縄・山城昌伸●岡山・赤沢伸一●市川・中込匡士●長野・太田貴広●北海道・佐藤和博●仙台・窪田洋之●横浜・高瀬建一●岡山・宮本宏●福島・菊地活幸●長野・和田千波●埼玉・大下泰秀●東京・桑原智也●三重・真田大輔●岐阜・脇田剛誌●浜松・瀬志本信太郎

女子高生フィギュアの好ガイド・ブック



菊地桃子や「スケバン刑事」など、今や女子高校生が女子大生に代って大人気だが、気になるのはそのセーラー服。東京都内には約140の私立女子高があり、男女共学を含めると制服があるのは151校だという。つまり、都内だけで151もデザインやカラーの違うセーラー服があることになる。そんなセーラー服の特に夏服だけを集めた本が今秘かなるブームになっている。

この本は「東京女子高制服図鑑」(弓立社・定価1200円)という名の「みんなが待ってたこんな本」(コピー文より)、イラストレーターとして知られる森伸之さんが5年がかりで書き上げたもので、セーラーカラーのライン数から学校指定のサブバッグのデザインにいたるまで克明にイラストにしてあり、さらに解説もついているマニアぶり。この本を参考にフィギュアを作ってみるのもイイネ。

読書の秋です。文庫でも読みながら心はファンタスティックな世界へ





夏も、アッという間にすぎて、もう秋です。涼しい風にふかれながらの読書もまた格別ですね。恋愛小説もいいけれどMJ読者には、ファンタスティックな気分になれる文庫を幾つかお薦めしよう。

まずは、いよいよタイトル・ロールのZガンダムが出てきて、ますます複雑になってきた「機動戦士Zガンダム」の1話から11話まで(つまり宇宙編)の名場面、キャラ、メカ、設定資料をコンパクトにまとめた「機動戦士ZガンダムHAND BOOK 1」(定価420円)。全4冊で完結する予定。「魔法のプリンセス・ミンキーモモ/夢の中の輪舞」(定価380円)は、エモーション・ビデオの同名作品を原作者の首藤剛志さんの文章と作画監督のわたなべひろし&けいこ夫婦の素敵なイラストでまとめた童話です。作品の研究書としても最適ですね。

「おぼえていますか」(定価420円)は、再びブームがきそうな「超時空要塞マクロス」の映画より、ラストの決戦シーンと河森正治監督のインタビューをセレクトした濃縮マクロス本。以上の3点は、徳間書店のAM文庫です。

特撮関係では、「仮面ライダー変身ヒーローの誕生」(朝日ソノラマ刊・定価580円)がベスト。1話から14話までの1号ライダー編をフィルム・ストーリーとメイキングでまとめた研究書。

新潮文庫の「恐竜図鑑」(定価480円)は、恐竜ファン必見の書。







スピルバーグ作品も登場 今年の冬は話題作で満杯



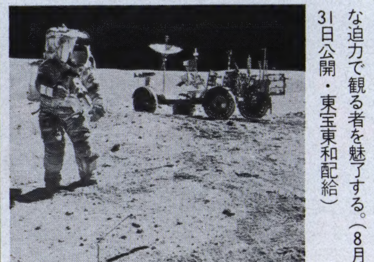
まだ残暑のきびしい時期ではあるけれど、暮から正月にかけて公開される話題作が早くも決定した。その中の2本は、ともにスティーブン・スピルバーグのプロデュース作品だ。1本は今年の6月にアメリカで公開されるや大ヒットとなった「グーニーズ」。監督は「スーパーマン」などのリチャード・ドナーで、7人の少年少女が17世紀の海賊の宝捜しをめぐって、ハラハラドキドキの、息もつかせぬ連続活劇を味あわせてくれる冒険物語。もう1本は「ロマンシング・ストーン」のロバート・ゼメキスが監督するSF「バック・トゥ・ザ・フューチャー」。この2作品は共に今年の夏の米映画界の話題をさらった作品。

これに続いて評判をとっているのが老人版「ET」とも言うべき「コクーン」。「スプラッシュ」を大ヒットさせた若手ナンバーワンのロン・ハワードの監督作品。宇宙人の残したタイム・カプセル「クーン」の放出するエネルギーによって、3人の老人が若者へと若返ってしまう。ラストはその老人たちと宇宙人たちの友情のドラマへと発展する心暖まるファンタジー作品。

最後は日米同時公開決定の「サンタクロース」。サンタクロース伝説を忠実に映画化した。これもファンタジー作品である。



本物がSFXを越える「宇宙からの帰還」公開



ジャーナリスト立花隆が宇宙飛行士たちへのインタビューで構成した「宇宙からの帰還」が映画になった。NASAが全面協力し、未公開の貴重なフィルムをも含め、全編がアメリカの歩んできた宇宙への挑戦の真実の映像で埋めつくされている。アポロ11号の月着陸の全容をはじめとして、全編がSF映画では味わえない、真実だけが持った劇的な迫力で観る者を魅了する。(8月31日公開・東宝東和配給)

ニュータイプ用可変モビルアーマー
型式番号　MRX-009

〈モビルスーツ形態〉

全高・40ｍ、乗員・１名
本体重量・214.1ｔ
全備重量・388.6ｔ
質量比・不明
パワージェネレータ出力・33600KW
移動用ロケット推力・84000kg × 2
（これだけでは飛ばずサイコミュ、ミノフスキー・クラフト等の推力も要するのであろう）
姿勢制御用バーニア・6基
センサー有効半径・10200ｍ
装甲材質・ガンダリウム合金など（詳細不明）
武装・拡散メガ粒子砲　3連装1基
　（1門出力4.8MW、総出力14.4MW）
　・ビーム砲（指）×10（出力2MW）
その他、未知の武器を装備している可能性大

〈モビルアーマー形態（浮遊形態）〉

全高・30.2ｍ
翼幅・32.4ｍ
最大滞空時間・320分
総浮力・500ｔ（概算値）
　この浮力はミノフスキー粒子が周囲に全くない時の値
　ミノフスキー粒子がある時の浮力Fは次の式で表わせる

$$F(t)\quad 500 \times e \times p[\ p\ k]$$

　　pはミノフスキー粒子の密度
　　kは定数
　現在、ミノフスキー・クラフトの原理は非公開のため良く分かっていない

■解説

地球連邦軍ニュータイプ研究所の日本支部ムラサメ研究所で、開発主任ムラサメ博士らによって開発された超大型モビル・アーマーで、モビルスーツ時には40ｍにもなる

サイコ・ガンダムはその名の通り、かつてのジオン軍が開発したサイコミュを搭載したガンダム型モビル・スーツである

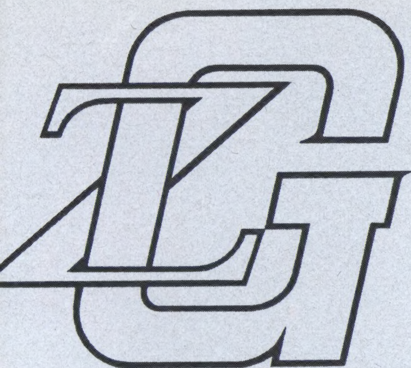
これは一年戦争時、連邦のニュータイプ、アムロ・レイがガンダムに乗っていたため、ガンダム型モビル・スーツにサイコミュを搭載する計画がスタートしたが、開発を進めるうちに装置自体の巨大化、ミノフスキー・クラフトの導入、変型システムを採用する等の変更がされたため、巨大な鉄塊のようなメカニズムになっていったが、変型時にガンダム型モビル・スーツになる事はなぜか保たれた

EXCITING DIORAMA

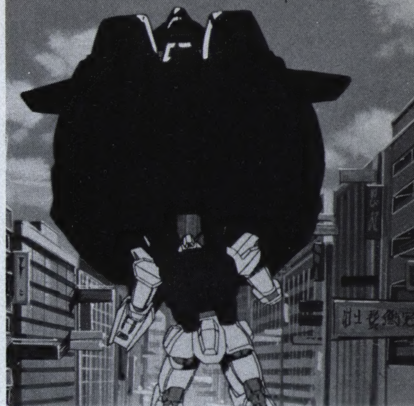
PSYCO GUNDAM

scratch. TOHL KOBAYASHI　diorama. MASAHIRO ODA　photo. YUZI TAKASE


東芝



ディオラマ・ガンダム



遠藤 明吾
（Zガンダム シナリオライター）

最近、こういう質問を良く受ける。Zガンダムのホンコン編（17～20話）とは要するにどういう話なんですか？

ホンコン編を執筆したのはもう4ケ月以上も前のことだ。それ以来『Zガンダム』を書き続け、ということは日々締め切りに追われる生活をしている。つまり思い返す余裕はなかった。それがホンコン編がオン・エアされる時期に差しかかり、各アニメ誌から最初に言ったような質問を速射砲のように浴びせられるに至った。

白状しよう。

巷ではホンコン編をフォウ4部作と称しているらしい。それは正しい物の見方である。なぜなら、ホンコン編は、主人公カミーユ・ビダンと敵の強化人間フォウ・ムラサメとの出会いと別れの物語だからだ。

だが、その底流には脚本家個人の忘れざる情念の発動があった。それがフォウ4部作の中に込められているのである。

ホンコン編は当初、今のような形になる予定ではなかった。第17話で富野由悠季総監督が示されたライナー・ノートには、カミーユとフォウの今後を予想させるものはなかった。

だが、微かな予感はあった。

そして、安彦良和氏が描いたフォウのキャラクター・シートを見せられて、僕はブッ飛んでしまった。

フォウ・ムラサメがあまりに似過ぎていたからだ。僕のかつての恋人に……！

僕の場合はカミーユと違い、初恋という感覚ではなかった。彼女と僕が出会ったのは今から5年ほど前、僕はもう20歳を過ぎていた。もはや初恋の時期ではない。

そして、彼女との日々を忘却の底に沈めるために、数年の月日を費やした。

エリカ。……その娘はエリカと言った。エリカとフォウが僕の中でシンクロした。

たった1枚のキャラクター・シートが、忘却の彼方からひとりの女を僕の目の前に引きずり出してきたのだ。僕は狼狽した……。

18話の脚本を鈴木裕美子さんが担当したことは僕にとって幸運だった。それが僕を少し冷静にした。だが19、20話の担当は僕だ。富野総監督のライナー・ノートは僕の予期した通り、カミーユとフォウの淡い恋の物語へと発展している。

どうしよう……？

僕はある魂胆を思いついた。エリカと僕の数ケ月（思い出した！ 僕が彼女と出会い、彼女と訣別するまで、わずか数ケ月しか経過していなかったのだ。それでもアムロとラァよりは長いか。でも、どっちが充実していたかは判らないな……）、とにかくその数ケ月をZガンダムの中でリピートさせてしまおうというのだ。

Zガンダムの中で僕はエリカと再会することになる。こんな感傷は僕が最も嫌悪するものだが、その時はどうも頭に血がのぼっていたらしい。

そんな魂胆はすぐシナリオに現れ、それを見破った富野総監督が偉いのか、見破られた僕がヘボなのか…。

それでも20話の第2稿は半分ほど完成した。だが最大の難所が待ち構えていた。この話数のクライマックスシーンとも言える、コックピットでのカミーユとフォウのシーンである。ここに来て、ワープロのキーボードを叩く僕の指はピタッと止まってしまった。

何ヲ書イテイイノカ判ラナクナッタノダ。

その時、ふとあるシーンが脳裏に浮かんだ。

それは、僕がエリカに訣別を宣告された日のこと。納得できない僕は、彼女の下宿にまで押しかけていった。

エリカは玄関先で僕を迎えた。けっして部屋に通そうとはしなかった。うっすらと積った雪を踏み締めるように彼女の下宿に向かった記憶があるから、冬だろう。玄関先とはいえ、かなり冷えていた。寒さに震える僕をエリカはただ見つめるだけだった。それが彼女の答えだった。その場で僕はエリカになにを言ったのだろう。たしか愚劣な内容だったと思う。わずか20歳過ぎの男の、それが限界だったのだ。そして僕たちは永遠にお別れした。

ナンダ、こっくぴっとノ中ノかみーゆトふぉノ状況ト良ク似テイルジャナイカ。

僕はまたある魂胆を思いついた。コックピットのシーンで僕の無念を晴らすのだ。

5年前、エリカの下宿で僕が言い足りなかったことを、カミーユに代弁して貰おうと企んだのだ。なんと姑息な脚本家だ！

そして、そのシーンはとても良く書けた。自画自賛である。

あの日、エリカは僕を理解してくれなかったが、フォウはカミーユを理解した。そして命をかけてカミーユを宇宙に返した。

〝これでよかったんだ。カミーユ、おまえはよくやったよ。俺の分までな。

ワープロのディスプレイに写る20話の最後にエンド・マークを打ち込みながら、僕はそう呟いた。満足してたんだろうねえ、たぶん。

だが、自分のこの浅薄な考えが見事に打ち破られたのは、映像化されたホンコン編を見た瞬間からだった。

ブラウン管の中にいるフォウは、フォウであり、エリカではなかった。島津冴子さんの声を得て、のびやかな演出を得て、フォウは一人の多感な少女として、ブラウン管の中に生きづいていた。それはスタッフの一人でありながら、新鮮な感動を僕に与えてくれた。

――ああ、負けたよ。俺の負けだ。

一人の脚本家の想いで作品を独占しようなんて、所詮思い上がりでしかないのだ。ホンコン編は僕のものでも、富野総監督のものでも、もちろん日本サンライズのものでもない。この作品を見て、感動してくれた視聴者一人一人のものなのだ。当然だよね。そう、アッタリマエのことなんだ。それを気づかせてくれたのが、このホンコン編なのである。

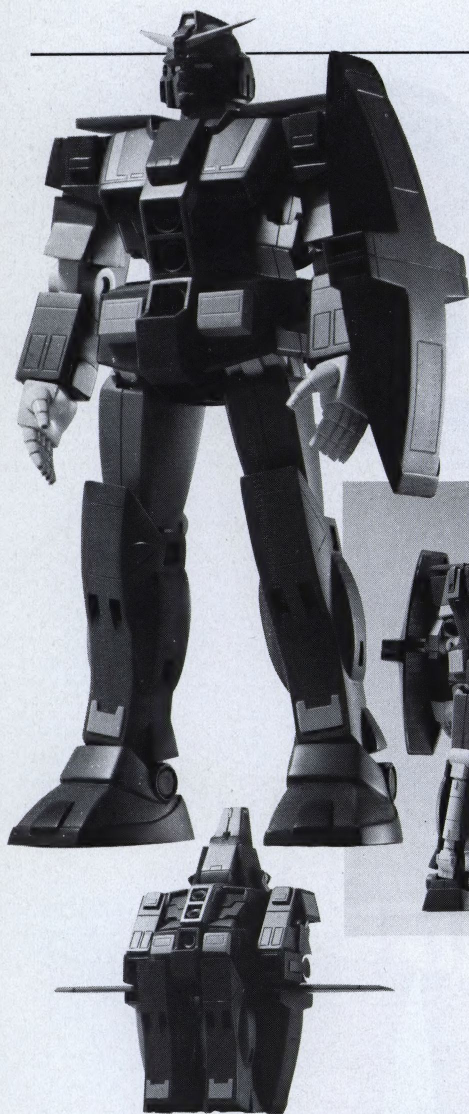
だから、僕だけの〝永遠のエリカ〟なのだ。君の心の中にエリカはいるだろうか――？

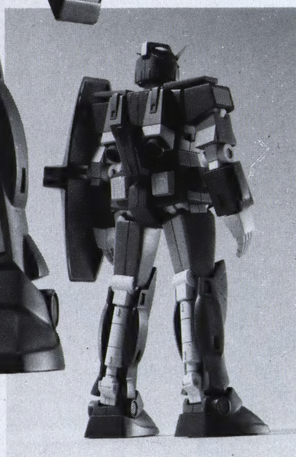


▲第17話 旧ホンコン市の美術設定

●1／200 SCALE ●製作記事

サイコガンダム





「デッケェーッ！」

TVを見て、最初に出たコトバがコレでした。このサイコガンダムを製作するのに際して、資料を受け取った時に、MkIIの背の高さの3倍はあると聞いてはいたものの実際、画面で見るとすごいボリューム。6、7倍はあるんじゃないかなあ。(場面によっては、10倍以上に見える時もあった!?)そして、やたら強い。強すぎるのです。ホンコンという場所設定も珍しいが、なんとなくリアリティーがあるし、怪獣映画みたいにビルの谷間を歩きまわる巨大なサイコガンダムとMkIIとの市街戦は今までのガンダムシリーズには見られなかった。(ちなみに、ビグザムは宇宙空間での戦いだった。)また、サイコガンダムを開発したのが日本にあるニュータイプ研究所のムラサメ機関(この時代になっても、日本の技術は優秀なんだなあー!?)といった設定なども、一層リアリティーを盛り上げている。(百式の〝百〟のマーキングも、なかなか粋で私は大変好きです。)

では今回の製作について説明していきましょう。可変モビルアーマーという事なので、本当ならば変形できる物を1品作ればベストなのですが、なにせ2形態を比較すると所々違いがあり、とても1つの物がチェンジしたとは思えません。やっぱり、2次元を3次元に起すのはムズカシイ。という事で、モビルスーツ形態(立ちポーズ)と、飛行形態の2種類を作ることになりました。(あーっ、めんど臭い。おっと失言。)

まず、モビルスーツ形態(立ちポーズ)。

★頭部

1／100フルアーマーの物を使いました。ノーマルガンダムの頭では首が一体になっていて作業しにくいし、モールドのメリハリもしっかりしているフルアーマーがマルです。特長でもある額のメガ粒子砲は、1・2ミリプラバンを小さい長方形に切り出しピンバイス(2ミリφ)で中をくり抜き、2ミリ丸棒を縦に並べ穴を開けた物です。サイドインティーク、鼻から顎はプラバンにて改造。

★胸部および腰部

同じく1／100フルアーマー。メガ粒子砲基部は一度ノコで切りとばした後プラバンで再現。(インティーク部、股間のバーニア部も同様。)

★腕部

フルアーマーの物を芯にプラバンで囲む。手はMSN・01(通称タコザク)の甲を薄くした物。指の間はノコでスキ間をあける。

★脚部

1／100GMです。太股は1・2ミリプラバンをはさみボリュームUP。膝とふくらはぎはGMの足の余分な所をカットし、プラバン、プラ棒をはり付ける。(足首も同様。)

さて飛行形態ですが実は1／144スケールなのです。作業方法はほぼ1／100と変りありません。ただし、足首だけは幅をせまく作る。爪先が内側に納まる様にする。胴体前部を斜め上に角度をつけて接着。また肩のアーマーや、背中のブースター基部、シールド等は1／100・1／144ともすべてプラバンから作っています。

(小林とおる)



●ディオラマ撮影について

今回の撮影で最も難かしかったのは、昼間用のセットを夜間用に切り換ることだった。ホンコンの昼間シーンを再現する為に、現在の香港の写真をプリントにして、セットへと建込んだのだが、昼間シーンの撮影の後に夜間シーンを撮影しなければならず、昼間セットを夜間セットへと改造することになったからだ。

セットといってもディオラマとは違い、プリントを建込んだだけの平面的なもので、改造は困難を極めた。取りあえず、ビルの窓を切りぬき、後からライトが照るようにアルミホイルのレフを貼った。これはセットの台そのものに乳白色のアクリル板を使い、真下からライトを照らされるようにしていたので、その光をアルミホイルで窓に反射させたのである。次にプリントの各所に小さな穴を開け、豆球を使い電飾をした。更にネオン類を全て蛍光色で塗り、ブラックライトを照ることで、発光しているように見せかけた。このセットにグリーンのフィルターをかけたライトを真下から照て、何んとか夜間のシーンに仕立てあげた。

さて露光だが、今回はメイン、ブラックライト、サーチライトの三重露光となった。サーチライトは、バックに巨大なマスクを作り、後方からライトを照て、後方のビルのセットをどかして露光し、今回の写真になった。

――セッティングに協力して下さった小田さん、どうもご苦労さまでした。

(高瀬ゆうじ)

Creamy Mami Long Good-Bye

1/1 SCALE Megumi Ayase



島津冴子



数多くの兵士たちが、この道路を〝ゾーン〟へと向かった。だが、彼らの中に、このときの麟ほど、一刻も早く〝ゾーン〟の中へとび込みたいと願った者が、一人でもいただろうか……

〝ゾーン〟への道は、麟にとって、かよい慣れたものだった。彼は〝ゾーン〟への所要時間を、かなり正確に推測することができた。

そのことが、彼に〝ゾーン〟を遠いものに感じさせた。

カウントダウンされる一分、一秒のなんと

Scene 6

スパイラル
“螺　旋”

スパイラルゾーン
SPIRAL ZONE



《STAFF》

WRITTEN AND DIRECTED BY
KAZUNORI ITO

CHARACTER DESIGNED BY
AKEMI TAKADA

ILLUSTRATION BY
HIROYUKI KITAZUME

MECHANICS DESIGNED BY
RYO SAKUMA
JUN KATO
KUNIO OKAWARA
KAZUHISA KONDO
HIROYUKI KATO

PRODUCED BY
SATOSHI KATO

CO-PRODUCED BY
KEN SUEKAWA

《CAST》

RIN KAZUMI
GIG STRATTEN
YUJI IZUBUCHI
TAKESHI WAKANA
NORMAN SYNCLEA
MARDOC HIRATA
JEREMY GRAY
AKIO KATO
YURA IZUBUCHI

長く、ゆっくりしていることか！

"こうしているうちにもギグは……いや、もしかしたら、もうすでに手遅れなのかも…"

ともすれば頭をもたげそうになる不吉な考えをはらいのけ、麟はドライバーシートの出渕に眼をやった。

出渕にしても、妹、由良の安否を気づかい焼けるような焦燥を感じているにちがいない。が、彼は操縦に専念できるだけ、救いがあった。

出渕が駆り立てるマッドレミングのガンナーシートで、なんらなすすべもなく、ただひたすら"ゾーン"への到着を待っただけの麟はおちつかないようすで身体を動かした。

前方上空、"ファイヤーボール"チームの先頭を行くブロンコのシルエットが視界に入った。

"……あの銃座で、ジェレミーはいつも何を考えているんだろう……"

麟は無意識のうちに、汗ばんだ手のひらをズボンでぬぐおうとして舌うちした。ブルソリッド用のグローブをつけていることを忘れていたのだ。

「シートについて、ベルトをしめろっ！」

操縦席の横に立つ由良にギグが怒鳴った。由良が何かいおうとしたが、ギグはかまわずつづけた。

「オレがいいというまで口をきくな。舌をかんで、あとで泣くことになっても、知らないからな！」

瞬間、真上から巨大なハンマーを振り降ろされたような衝撃が襲い、Dモニターは見え、ない力に押されてスピンした。

コクピットの照明がたよりなく点滅し、闇の中に、短かく由良の悲鳴が反響した。

レギオンの波が、Dモニターを飲みこんだのだ。

かすかだが、ズルズルと深みに引きずりこまれていくような降下感覚がある。

ギグは激しくギアをシフトして、Dモニターを前後に揺さぶった。

流れる汗が眼に入り、すさまじいエンジンの咆哮に、思わず耳をふさぎたくなる。

Dモニターが横転してしまわなかったのが唯一の救いだった。レギオンの圧力にDモニターのエンジン出力がまさされば、脱出は可能だ。しかし——

エンジンが力なく咳こんだ。

エアインテークをレギオンの波にふさがれてしまったのだ。

ギグの眉間に深いシワが刻まれ、よく聞きとれない英語で悪態をついた。

そのとき、ガクン、と小さなショックがあった。レギオンに封じこまれたDモニターがごくわずか、動いたのだ。おそらく、それが最後のチャンスだった。

ギグは、ほとんど本能的に行動した。

Dモニターを180度、信地旋回させ、すぐさま180度、もとにもどす。ゼラチン状のぶよぶよしたレギオンが一部くずれて、ギグは祈るような気持ちでアクセルペダルを踏みこんだ。

絶命寸前のTATA06005エンジンが息を吹き返し、Dモニターは噴出する火山弾のように、レギオンの波から飛び出した。

「やったあーっ！」

喜びの声をあげたのもつかの間、ギグは全身の毛がそそけ立つほどの恐怖を感じた。

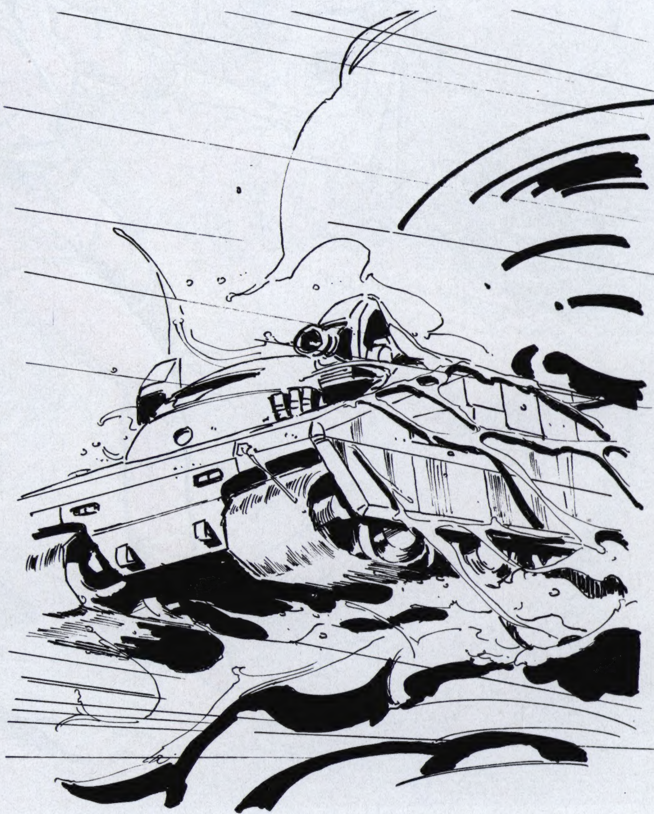
目前にバグがいたのだ。

一瞬、ギグの思考が停止した。いくら男まさりにDモニターを乗りまわすといっても、ギグはしょせん兵士ではなかった。

突然のバグの出現に、まず何をなすべきかの判断が遅れ、その遅れは致命的なものになるはずだった。

が、バグのセンサーポッドが急激にふくれあがり、爆発した。

ギグはあわててハンドルを切り、地に落ちたバグを回避した。飛散したバグの破片がDモニターの側面を叩く。



「生きてるか……？」

耳ざわりな空電のノイズとともに、通信器から男の声が流れた。

ギグはその声に聞きおぼえがあった。確かリカオン中隊をバックアップする、ファットリンクスのドライバーだった。退却中の彼らと合流してしまったらしい。

ギグの心に、かすかな希望が芽ばえた。

後部座席にいる由良を見ると、波にのまれた時にどこかへぶつけたのか、額の隅にうすく血をにじませ、心もち蒼ざめた顔をしていたが、彼女はそれでも、大丈夫だというように頷いてみせた。

「乗員二名、共にグリーン。援護に感謝する。……今度、なんか必要なものがあるときは安くするよ」

ファットリンクスのドライバーに、ギグは明るく答えた。

だが、ドライバーからの応答はなかった。

Dモニターのカメラアイが黒煙をふき上げるファットリンクスをとらえた。

退却する彼らは、多数のバグをともなってきたのだった。

状況はけして好転したわけではなかった。むしろ、悪化しつつあったとすらいえるだろう。

なぜなら、この時点でギグは、波となったレギオンの飛沫が、Dモニターのエンジンルーバーをふさいでいることに、まだ気づかずにいたのだから……。

"ゾーン"と世界を分かつ限界線の直前で誰よりもびっくりしたのは、ブロンコ・パイロットの加藤章夫だった。

呼吸をくり返すように明滅する"ゾーン"

の壁をぶち破って、目の前にバグが飛び出してきたのだ。
それがなんであれ、〝ゾーン〟内のものは人間が持ち出さないかぎり、通常世界に出てきたりしないものだった。
〝ゾーン〟内のものは〝ゾーン〟から独立して通常世界に出てくることはない――それが定説にさえなっていたのだ。
その定説が三機のバグによって、あっさりとくつがえされたのである。
加藤はあやうくブロンコを上昇させ、その下をバグがすりぬけた。
直後、ヒラタのモノシードが一機のバグを葬った。続いて、ノーマンのバグが一機。
しかし、残り一機は彼らの頭上を飛び越えて、市街地へと向かっていた。
その一機を見すごすわけにはいかない。だが……加藤は、瞬時、ためらった。



「出渕と麟のマッドレミングは、そのまま前進。ヒラタは二人を援護しろ。ノーマンは現在北に待機、後続部隊が到着するまで〝ゾーン〟から出てくるバグの警戒にあたれ」
指示をあたえつつ、加藤は、すでに撃ちもらした一機のバグを追っていた。
おそらく、若菜がいたなら、彼らは全員、〝ゾーン〟には入らず、チームをあげて出てくるバグを叩くことに全力をあげただろう。
が、加藤には麟と出渕の気持ちが、痛いほどよくわかった。彼らは一秒でも早く〝ゾーン〟にとび込み、少しでも可能性があるうちは、なんとかしてギグと由良を助けだしたいと思っている……そんな二人に、ここで待ったをかけるようなことを、加藤にはできなかった。温情家の加藤ならではの指示だといえた。
そして、そのことが、結果としてチームの戦力を分散させることになってしまったのである。
バグは眼に見えてその数を増していた。
バグばかりではない。
敗走してきたリカオンが、ファットリンクスが、重装甲歩兵が、そして、レギオンが、果てしない混乱と戦いの地獄絵図を展開していた。
「くそっ！　一体、今日はどうなってんだ。こんな大がかりな作戦があるなんて、聞いてねぇぞ!!」
ギグはそんな日を選んでしまった自分に悪態をつきながら、Dモニターを走らせた。
戦場で一際目立つDモニターはバグの恰好の標的となった。
だが、ギグはバグの攻動パターンが、けして攻撃に徹したものではないことに気づいていた。もし、Dモニターを破壊するつもりならば、そのチャンスはいくらでもあったはずなのだ。
バグは何かを待っているようだった。
何かを待って、そのときまで手かげんしている……ギグには、そんなふうに思われた。
そうしてバグが手をこまねいているうちは彼女たちにもチャンスがあるはずだった。
計器板で赤いワーニングランプがまたたいた。ルーバーをふさがれたエンジンがオーバーヒート寸前にあることを示すものだった。
テンプメーターを見るギグが不思議そうな顔をした。メーターは常温を示している。
由良がさすがに不安になったらしく、ギグの手元をのぞきこもうとした。
ギグは、ちょっと考えて、テンプメーターのガラス板を軽くノックした。
とメーターの針がどんどん高温を示しあっという間に危険温度に達した。針に小さなゴミがひっかかっていたのだ。
「なんてこった！」
手遅れだった。
「なんなの……!?」
由良が小さく囁いた。普段の彼女からは想像もできない、か弱く、頼りなげな声だった。
「こいつはもうじき使いものにならなくなる……つまり、走れなくなるということだ」
「どうして、そんな!?」
「理由を説明してるヒマはない。とにかく……オレたちは乗り物をすてることになる。あとは自分の足で走るしかない」
由良の瞳が大きく見開かれ、唇が小さくふるえた。
ギグはまっすぐに由良を見つめて言葉をつづけた。
「〝ゾーン〟の中でじっとしていることがどれだけ危険かは知ってるだろ。だから、こいつが止まっちまったら、走るしかないんだ。……おまえの命はオレが守る。お客さんだからな……だけど、オレの指示にはちゃんと従ってくれ。いいな」
――エンジンがこと切れるまで、三分とかからなかった。
ギグはLBR（レーザービームライフル）をひっつかむと、ハッチをはね上げた。レギオンの残滓（ざんし）が黒いタールのように糸をひいて腕をはった。ギグはそれを無造作にはらいのけ、由良に目で合図すると、〝ゾーン〟の中へとび出した。
〝ゾーン〟内の予想以上の混乱に、麟たちはとまどった。いたるところで、ついさっきまでは彼らの兵器であったものが〝ゾーン〟にとりこまれつつあった。
麟はすぐに行動を開始した。
走るマッドレミングのガンナーシートに中腰で立ち、麟はタイミングを見はからって、牽引される台車にとび移った。
すかさずボーファイターに乗り込み、くくりつけていたワイヤーロープをパージすると急上昇する。
「救助はあくまでも、ついでだということを忘れるな」
ヘルメットの中に流れたヒラタの声を麟は

聞いていなかった。彼は狂気と混沌が支配する〝ゾーン〟の中で、ギグのDモニターを発見することに全神経を集中していた。
鱗はDモニターがすでに〝ゾーン〟に同化しつつあることを知らなかった。
〝ゾーン〟から通常世界へと侵攻してくるバグの数は時間とともに増えていった。
一台のマッドレミングと、一機のブロンコでは、とても防ぎきれる数ではなかった。
飛来したバグは、限界線附近で防衛にあたる〝ファイヤーボール〟チームを無視して、一直線にS市をめざしていた。
「加藤さん、オレたちだけじゃ……」
ノーマンが音をあげそうになった。
加藤も兵力を分散してしまったことを後悔しはじめていた。
「おい、もどってきたよ、どうでもいいけど……」
ジェレミーがあきれたような声でいった。
S市方面からバグが飛んでくる。
が、一同はそのシルエットがおかしいことに、すぐに気づいた。
「あれは……ちくしょう！　人だっ！　人間をぶらさげてやがる!!」
ノーマンが口にするまでもなく、そのことはすぐに理解できた。
バグはそのセンサーポッドから伸びたグラスファイバーの触手に人間をからめとっていたのである。
バグのS市攻撃の目的は破壊と殺りくではなく、人間を生きたままで捕獲することにあるのだった……。
〝ゾーン〟の内部でも同じような光景が展開しつつあった。
逃げる兵士に、さわさわと伸びるバグのファイバーがからみつき、宙にかかえあげていく。クラゲが小魚を捕食するような、見ていて肌に粟のたつ光景だった。
かつてヒラタが言葉にし、ギグが感じたように、バグはこの目的のために攻撃をかげんしていたのだ。
なぜかはわからぬが、彼らは生きた人間を必要としている。彼ら――そう、バグをあやつるものは〝ゾーン〟深部に潜在意志を持った何者かであることは明白だった。
――限界線まで約二キロ強。徒歩でも脱出可能な距離ではある。しかし……
由良はギグととびこんだ窪みの中で、身体を二つに折って嘔吐した。あたりに漂う腐臭とも生物臭ともつかぬ、ねっとりと鼻腔にまとわりつくすえた匂いに耐えかねたのだ。
ギグは由良の背中をさすってやりながら、油断なくあたりを見まわした。
〝次の目標は、あの窪地だ……右のブッシュの方が近いけど、あそこはレギオンがわきそうだし……やっぱり、あそこしかない……だけど、あと、どれだけもつだろう〟
ギグは由良の顔をのぞきこんだ。
「大丈夫よ。次はどこまで走るの？」
ハンカチで口をぬぐっていた由良が、ギグの心を見すかしたように、そういった。
長い髪が汗で頬にへばりつき、彼女の美しさに凄惨なものがまじった。
無理をしていることは明らかだった。
が、だからといって、休んでいるわけにはいかない。
「走って！」
ギグの合図で由良が走った。
一拍おいて、ギグが続く。
と、眼の前で、由良がすべった。
〝ゾーン〟の表皮がズルリとむけて、何百何千というクモの足のような小さなレギオンが、ぞよぞよと由良の身体をつつもうとした。
パニックを起こしかけた由良を、レギオンからひきはなし、ギグは力まかせにひきずって、窪地へ放りこんだ。
由良はそこでまた吐いた。もう何も吐くものがなく、泡と黄色っぽい胃液しか出なかった。



〝これが、あんたの見たがった〝ゾーン〟だよ……〟
よほど口に出そうかと思ったが、ギグはその言葉をのみくだした。かわりに、そっと背中をなでた。
「バカだと思ってるでしょう」
「……バカはおたがいさまさ」
ギグは初めて由良に微笑んだ。
そのとき、力強いエンジン音がした。
上空で、ボーファイターの鱗が窪地の二人と二人に近づくバグを発見するのと、由良が立ちあがるのとがほとんど同時だった。
「立つな！」　というギグの制止は間にあわなかった。
由良は近づいてくるマッドレミングを見た。
そこに兄の姿を認めたかどうかはわからなかった。直後に、彼女の身体は宙を運ばれていたからだ。
上空の鱗には一瞬、何が起こったのか判断がつきかねた。バグが二人の上を横ぎると、ふいに由良の姿が消えたのだ。
出渕はバグのセンサーポッドを照準にとらえていながら、トリガーを引くことができなかった。
ポッドのすぐ下に由良がいる。
マッドレミングの40ミリ機関砲では、由良を傷つけることなくバグだけを破壊するのは不可能だった。しかし、バグが高度を上げたら救出そのものが不可能になる……
出渕はマッドレミングを急停止させ、ホルスターのLBG（レーザービームガン）で結着をつけようとした。
が、結局、ギグの反応が一番早かった。
ギグは出渕が迷っているうちに立ち上がりLBRを構えてトリガーを引いた。
由良にからみついたファイバーの上端をなぎはらうつもりだった。
それは途中まで成功した。が、
「ギグッ！　後ろだっ!!」

麟の絶叫はギグにとどかなかった。ギグもまた捕獲されてしまったのである。その瞬間、ギグが構えるLBRの銃床がはねあがり、レーザーは由良を捕獲したバグのポッドを貫いた。

バグはバランスを失い、由良を地表に放り出して墜落、爆発した。

ちょうど出渕がマッドレミングから降り立ったところだった。突然の火炎に彼は身をよじった。幾つもの破片が出渕の身体を直撃した。

麟はギグを捕えたバグの後ろについた。触手をふりほどこうと身もだえするギグがハッキリと見えた。だが、出渕同様、ボーファイターの20ミリ機銃を撃つ決断がつかずにいた。

〝とにかく近づけば……〟

どうなるかは麟にもよくわからなかった。が、彼女にできることは、とりあえずそれしかなかった。

ギグはポッドの中央から、細く透明なチューブが出てくるのを見た。その先端には針がついていた。本能的な恐怖に、彼女はいっそう激しく抵抗したが、身体にまきついたファイバーはびくともしなかった。

ゆらゆらと伸びるチューブはギグの大腿部をまさぐった。静脈をさがしているようだった。

ギグの脇腹を汗がつたった。

そのとき、ギグは麟の声を聞いた。ボーファイターに乗った麟が、すぐそこまで来ていた。

ギグも麟の名を呼ぼうとした。が、その声は悲鳴に変った。大腿部に激痛が走り、ギグは大きくのけぞった。

ポッドから伸びたチューブの針が刺しこまれたのだ。

ギグは遠のく意識の中で幻を見た。

それはDNA模型と思われる二重螺旋であり、やがて螺旋はバラバラに崩壊し、ギグは気を失った。

麟の前で、ギグをつり下げたバグが急激に加速した。

ボーファイターでは追いきれないスピードだった。

それでも麟は追った。

「もどれ！　深追いするな！　もどれ!!」

ヒラタが叫んでいた。

麟にとって、そんなことはどうでもよかった。いつもより〝ゾーン〟の空が濃く、朱に近い色にまで染まっていることにもほとんど気づいていなかった。そしていつの間にかヒラタの叫びが途絶えたことも……

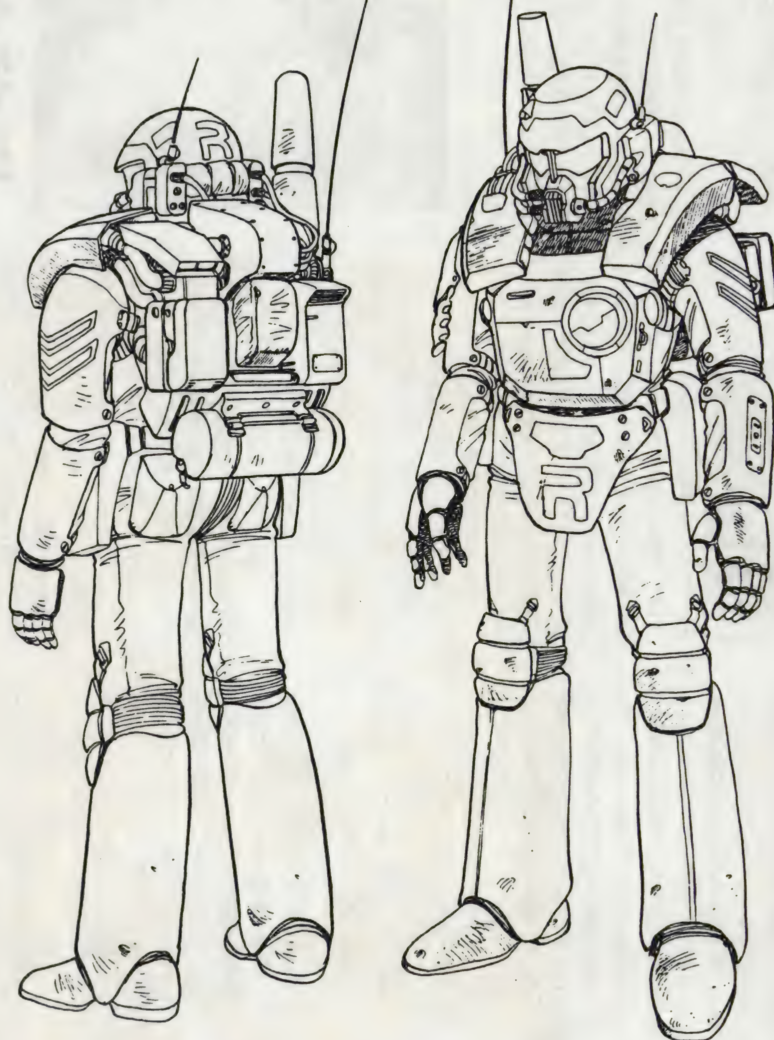
何の前ぶれもなく、大気が震え、衝激波となって麟のボーファイターを翻弄した。

地表から、すさまじい塵灰が吹き上がり、あたりを朱に染めて視界を閉ざした。

麟はあたりが赤い闇にとざされる直前、地平近くに、とんでもなく巨大なバグのシルエットを見た。それにくらべれば、彼らが相手にしてきたバグなど、本当に虫みたいなものだった。

大地が轟々と咆哮し、二度目の衝激波がボーファイターを襲った。

この日、日本列島はフォッサマグナを軸にして、最大マグニチュード9・7という未曽有の大震に揺れたのだった。



▶成田亨◀ SPECIAL DESIGN WORK NO,8

ロケーションによる特撮





　昭和46年　私はアメリカの映画監督であるテリー氏と会いました。紹介をして下さったのは三村明さんです。三村さんはハリウッドで永い間カメラマンをしておられて「80日間世界一周」などを撮られ日本へ帰ってからは「暁の脱走」などを撮られた方です。監督のテリー氏は40才ちょっと過ぎという感じでした。「NOON・SUNDAY」という映画で教会を爆破させたいので手伝ってくれとの話でした。勿論喜んで協力しましょうという事でグァム島へ行きました。

　爆破すべき教会のロケーションに立ち会いカメラアングルからの写真を撮りました。このスケッチをもって日本へ帰った私は、グァムのロケの教会と寸分違わないミニチュアーを作りました。強遠近法ミニチュアー・セットです。ロケの教会の寸法からミニチュアーセットになっての教会の寸法を一致させるのです。撮影のカメラのレンズは40ミリと私の方できめて了うのです。東京撮影所のオープンに作ったこのセットを見てテリーは大変喜こんでくれたし爆破も成功しました。

　2年程してテリー氏がまた来てこんどはワニを作ってくれと云うのです。「クロコダイル」と云うぶ厚い台本とワニの写真をおいてゆきました。人喰いワニの話で私が作ったワニをオーストラリアの沼地へ運んでロケーションをやりたいという話です。早速私はキャタピラのついた農耕機を内蔵したのと人間が2人入るのと2種類のワニの図面をかいて渡しました。テリー氏はそれから全く現われず三村さんに聞くと、カネを作るのに苦労してるのですよ、との事です。

　テリー氏は現われませんでしたが、私はロケーションによる特撮と云う分野について考えはじめていました。

　日本テレビから「太陽は沈まず」の話があって私はこんどは鮫のロケ特撮を考えることになったのです。

　私は波に耐えるF・R・P製の硬い鮫と、身体にしなりの出るゴム製のものを考えました。そしてこのゴム製の方には水中スクーターを持ったダイバーに入って貰うという案でしたが、ダイバーが吐き出し呼吸の泡の問題で豚座しました。

　とにかく作らねばと云う事で私の家の庭で5メートルの鮫の粘土作りに入ったのです。

　油粘土で大体の形を作るのに一ヶ月位かかりました。これを石膏で形取りして、型を佐々木明氏の所へ運んで整形して貰いました。

　佐々木明氏と云うのはウルトラマンやバルタン星人を作った私の友人です。

　伊豆の海でテストをしたら、やはり波の密度に抗し切れずに潰れかゝったり、水平がとりにくいのが判りました。鉄の輪を入れるなどの対策を佐々木氏に頼んで私はトンガへ立ったのです。

　トンガに届いた鮫は無残にも4つに切断されていました。エヤー・カーゴの都合です。

　トンガはスバラシイ島でした。本当の南の島とはこんなにも美くしいのかと思いました。

　しかし島の美くしさに酔っているヒマはありません。私は無人島マリノアの沖に沈める為のスペインの沈船の製作に入りました。

　毎日10人のトンガの大工さんが来ます。その人達をつれて水産庁の庭を借りて沈船を作り初めました。

　沈船は海底に沈んでいなければなりません。

　先づベニヤにどんどんかきこんで龍骨を立てました。このベニヤの龍骨に鉄筋をしばりつけてゆきその上にラスを張り、セメントで仕上げてゆくのです。最後に日本から運んできたフィギュアーヘッドを取りつけ、着色して完成です。完成したものは運んで沈めなければなりません。筏を作って運ぶのですが、トンガは材木は全て輸入品なので高いのです。そこでココナツを切って、ココナツの丸太の筏を作るのですが、私もココナツが海に沈む重い木だとは知りませんでした。ドラム缶の浮き筏を沢山つけます。



　沈船の方を見ながら私は鮫の補修です。日本のロケ隊はどんどん撮影してゆくのですが私は来る日も来る日も水産庁へ自転車通いでした。

　ゴム製の鮫は接続が困難なので、前半身と後半身を分けて使う事にし、F・R・Pの鮫の完成にかかり切りました。

　やっと出来た鮫が、背びれ丈を出して、モーターボートに引かれて波を切った時はホッとしました。

　海外ロケはこう云うものです。私は本篇の美術も兼ねていましたので、時々はロケセットも見にゆきました。水産庁の撮影には、さびしいので水産庁のマークをデザインしてカンバンを立てました。勿論カンバンも自分で作り自分で描くのです。これがそのままトンガの水産庁のマークになったと云う、ウソか本当か判らない話もくっついて来ます。

　2ヶ月もトンガで暮らし毎日トンガの大工さんとつき合っているとだんだん云う事が判ってきます。私はトンガ語は勿論英語もろくに云えないのですが終り頃になると私が顔を見ただけでサッと走って行ってロープを縛ったり色を塗ったりします。

　それにしても特撮の海ものをやっているとホリゾントに描いた雲の心配と波のたて方の心配なのですが此処では素晴らしい空と、太平洋の波と、ホンモノの無人島と、魚がウロウロいる水中撮影です。私はこの様な特撮の方向が、モッと見直されるべきでないかと思いました。



MJメモリアル・ヒーロー・コレクション5

ロボット刑事

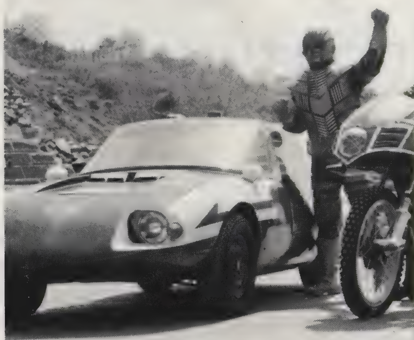
▶第10話「バドーのみな殺し作戦」のロボットマン、ハリサシマン。ワッカマン、ナナツマン、コワシマン等、デザイン的にすぐれたものが多い。



■放映期間／昭和48年4月5日～9月27日(全26話)、■製作／東映、■放送局／フジテレビ、■スタッフ／原作・石森章太郎、企画・平山亨、斉藤侑、フジテレビプロデューサー・別所孝治、脚本・伊上勝、中山晶一、上原正三、監督・奥中惇夫、折田至、内田一作、■出演／新条強・千葉治郎、芝大造・高品格、芝奈美・紅景子、芝由美・加賀由美子、地獄耳平・三上左京、K・中島律、金田治、Kの声・仲村秀生、バドーの声・川久保潔、ナレーター・野田圭一

〈ロボットによって犯罪を行なう謎の組織〝バドー〟。警視庁の犯罪捜査ロボット〝K〟は新米刑事の新条強と組んでバドーに挑む。〉

嗚呼！懐かしの特撮ヒーロー達





▲Kの愛車である空飛ぶパトカー〝ジョーカー〟。左の写真は劇用車。右は飛行シーン用のミニチュア。ドアは上に開くようになっている。



▶Kの秘密基地〝マザー〟。普段は海中に隠されている（写真はアップ用のマザーの頭部）。

▶雑誌の企画用に特写された、ロボット刑事、キカイダー01、仮面ライダーV3が勢揃いしたスチール。





◀Kは第22話で改造されて、そのボディは黒鉄色から赤へ、全身のハッチが開いてミサイルを発射できるようにパワーアップした（白黒ページじゃ、わからないね）バドーのロボットマンは、バクライマン。



◀Kはブレザーを脱ぎすてると戦闘スタイルになる。目の色も黄色から赤にかわる（写真は、試作時のコスチュームでバックルの形状が〝J〟になっている）。



エモーション・ビデオフォーラム

EMOTION VIDEO FORUM 出張版

●DAICONフィルム「ヤマタのオロチの逆襲」

DAICON FILMS PRESNTS

「モデルグラフィック」誌でおなじみ、大阪のダイコンフィルム製作の16mm特撮映画「ヤマタのオロチの逆襲」がEMOTIONから登場。プロ顔負けのテクニックで、鳥取の米子市を舞台とした壮絶な怪獣映画を創造するは若き新鋭赤井孝美。久々の面白い怪獣映画であるこの作品、本編60分にメイキング30分がついて14,000円予価にて10月28日発売!



これが「ヤマタのオロチ」だ!



その撮影風景。精巧なミニチュアワークに注目。

●EMOTIONオリジナルビデオの第8弾は日本サンライズの「ダーティペア」。

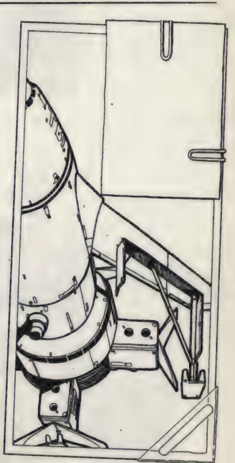
前号でお知らせしたように、現在テレビ放映中の「ダーティペア」が完全オリジナルビデオアニメとして12月に登場します。これは日本サンライズとEMOTIONの共同製作アニメ第一弾として製作されるもので、テレビ版の質を数倍グレードアップした作品となることでしょう。脚本はクリィミーマミ」の伊藤和典。その他スタッフ、ビデオ用キャラクター等は次号以降で詳報しますが、大好評「マミブック」「モモ文庫」以上のすばらしい特典等がつきますのでお楽しみに。また各種イベントも企画中。御期待下さい。

●EMOTION・レーザービジョンディスクますます充実。何と「ウルトラセブン」が登場。

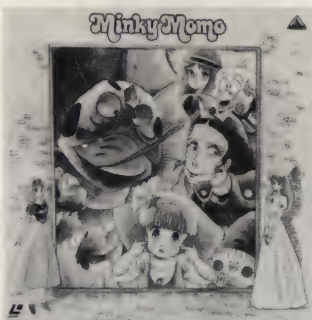
ULTRASEVEN

ハードなドラマとメカニック、ユニークな宇宙人のデザイン等で特撮ファンの人気を集める「ウルトラセブン」シリーズが、全話レーザー式ディスクでEMOTIONから発売。10月28日、第1話「姿なき挑戦者」から第4話「マックス号応答せよ」までの4話を収録。豪華な資料集付。これで完璧な「ウルトラセブン」が永久に保存されることになります。他のウルトラシリーズも待機中。





サンダーバードの魅了いっぱいの「コンプリートサンダーバード」のジャケットイラスト。(庵野秀明)



「ミンキーモモ」レーザー式ディスク。これのテープ版と、「劇場版ロンググッドバイ」にはマミ対モモの決戦フィルムを収録。



「ロンググッドバイ」の新ジャケット。

本家EMOTIONビデオフォーラム第6号ができました。御希望の方は、御自分の住所・氏名を書き、60円切手をはった封筒を同封して、下記までお寄せ下さい。〒150 東京都渋谷区神山町10番3号 ネットワーク神南ビル (株)ネットワークフロンティア事業部 ビデオフォーラムMJ係

●劇場で話題「ミンキーモモ対クリィミーマミ」対決ビデオ

MOMO VS MAMI

この夏松竹系でロードショーされた「夢の中のロンド」と「ロンググッドバイ」ですが、劇場ではその冒頭にモモ対マミの壮烈な死闘(?)を見せる約3分のプロモーションアニメが上映され、ファンの爆笑と、大拍手がまきおこりました。前号でもお伝えした様に、このアニメが、「劇場版ロンググッドバイ」とＴＶ版ミンキーモモ第6巻に収録され発売中。マミブック、モモ文庫付限定版は、現在店頭に出ているのみとなりました。お求めはお早めに。

●ミンキーモモ夢の中のロンド島のまんなか島クイズ当選者発表(答) 180度でした。
●特製ミンキーモィギュア 鎌田純、菅野邦明、川瀬真、斉藤孝、谷直樹、渡辺篤志、松浦頼子、佐藤英紀、長島禎年、高田和/他90名様
●わたなべひろしイラスト入りサイン色紙 中村キンコ、古田寛、荒木一哉、辰巳和枝、島田美代子、佐藤大二郎、神野弘一、嶋寺伸一、清水万理子、小田郁子/他20名様
●ミンキーモモポスター 二梃木清孝、木村真午、宮原一実、横山栄一、平山吉定、本宮祐子、田中亘、江口圭一、成田誠、五十嵐■子/他90名様
●35%フィルムしおり 石川敦、小柳茂、内田亮子、岡部克彦、竹村幸徳、柴田尚実、黒木順子、藤井奈緒子、山内均、二本亮/他60名様
●合計300名様が当選しました。おめでとうございます。

島津(めぐみ)冴子コスプレレポート

開田裕治


▲スタジオに集まったファンに囲まれて記念撮影

「あ、このコスチュームいいな、こんなのライブで着てみたいな。」島津冴子さんに「クリィミーマミ・ロンググッドバイ」の劇中劇、「二つの世界の物語」の中での戦士・綺のコスチュームを着て頂こうという計画は、アフレコ最中の彼女自身のこの一言からスタートした。面白い事には歯止めをかけない資質の脚本家伊藤和典がこの一言を聞き漏らすはずがなく、デザインの高田明美、演出の望月智充、他数名の冴子ファンが参集いMJをも巻き込み究極のコスチュームプレイを目指して、計画は具体化という名の坂道を一気に転がり落ちていったのだ。到達目的地は8月1日、4日、冴子さん初のライブステージ・アンコールパフォーマンス！

2Dのアニメキャラクターを3Dに置き換る事の困難さは、フィギュアモデルメイカーの日々苦悩する処として、読者諸君にはよくおわかり頂ける事とは思うが、生身の人間を素体とするコスチュームプレイにおいては、過去に幾多の果敢な挑戦があるにもかかわらず、そのイメージ落差の大きさに、思わず嘆息せざるを得ないものがほとんどであり、むしろ記号化されたキャラクターイメージの断片を身にまとう事による遊び感覚の充実といった方向にその指向は定まりつつあると言えよう。

しかるに、今回の企てにおいては、島津冴子さんの容姿がオリジナルたる綾瀬めぐみに極めて近く、髪型までがほぼ同じという好条件に恵まれ、しかも「ロンググッドバイ」における綾瀬めぐみのキャラクターそれ自体が声をあてる島津冴子さんそのものをイメージして書きおろされ、演出されていると云うのだから、これはもう無敵のコスチュームプレイになってしまう事は、疑問の余地も無かったのだ。

果たせるかな、特撮造型家若狭新一率るモンスターズが作り上げたコスチュームを身にまとったその姿は御覧のとおり、アニメーションから今まさに抜け出してきたかのような美しさと、迫真性に富む出来映えと相なったのであります。善哉善哉。

尚このコスチュームは、島津さんの希望を入れ、高田明美自身の手によってオリジナルに若干手が加えられている事を付記しておく。




▲ポーズ指導をする開田さん

9月 新製品 HOBBY

1. 機動戦士Zガンダム 1/144スケーム 百式



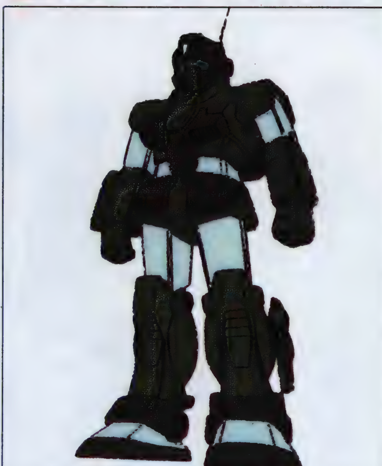
クワトロ・バジーナことシャアが操る高性能モビルスーツ。肩の部分に「百」という漢字のマーキングがあるのが特長。全身が金色に塗装されている。キットはポリキャップ使用で関節の動きがスムーズ。バインダー可動ビームライフル・サーベル付。
★9月発売予定　★小売価格￥600

2. 機動戦士Zガンダム 1/144スケール ネモ



ジムの後継機とも言うべき普及型モビルスーツ。アーガマにも搭載されている。キットは1/144スケール。関節部にポリキャップを使用しています。２色成形で組み立てるだけでほぼ設定の配色になります。シールド・ビームライフル、サーベル付。
★9月発売予定　★小売価格￥500

3. 機動戦士Zガンダム 1/144スケール GMスナイパー



ジャブローに残されていたMSVモビルスーツのひとつだ。コクピットがリニアシートに変更されたぐらいで大きな差位はない。キットは1/144スケール。各関節可動。ビームライフル付（但し設定とは一部形状が異なります。）
★9月発売予定　★小売価格￥400

4. 機動戦士Zガンダム 1/144スケール マリンハイザック



ホンコンにおいて使用された水中用モビルスーツ。やはりコクピットはリニアシートに変更されているが、外観の形状に大きな差異はない。キットは1/144スケール。各関節可動。水中用ロケットランチャー付。
★8月発売　★小売価格￥500

5. 機動戦士Zガンダム 1/144スケール 武器セット

キットには入れられなかったMSの武器を集めたキットです。ガンダムMKII、ハイザック、リックディアス用のオプション武器が数種セットされています。
★9月発売予定　★小売価格￥300

6. 機動戦士Zガンダム 1 220スケール メッサーラ



ティターンズが開発した新型可変モビルアーマー。キットは1/220スケール。モビルスーツ形態からモビルアーマー形態への変形が可能です。ブースター可動、ビームサーベル付、全高93ミリ。
★9月発売予定　★小売価格￥400

7. カワルドスーツ リック・ディアス



リックディアスが意味もなく変形して戦闘機になってしまうおもしろキット。シャアJr、のフィギュア付。
★9月発売予定　★小売価格￥300

8. ロボチェンマン リック・ディアス



おなじみロボチェンマンシリーズにリックディアス登場です。接着剤不要。ビス止メ、バックゼンマイで走行します。
★9月発売予定　★小売価格￥400

模型情報

MJマテリアルNo.6
1. 機動戦士Ζガンダム②



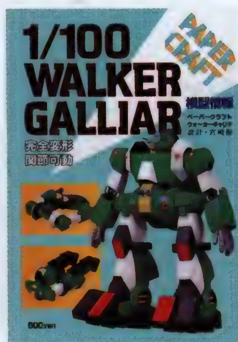
Ζガンダムのキャラクター特集です。質の高いフィギュア作品が楽しめます。
★好評発売中　★小売価格￥560

MJマテリアルNo.7
2. クリィミーマミロンググッドバイ



マミの魅力を一冊に圧縮、高田さんのイラスト集にもなっています。
★好評発売中　★小売価格￥560

ペーパークラフトブック①
3. 1/100ウォーカーギャリア



宮崎勝氏設計による1/100ウォーカーギャリアのペーパークラフトです。
★好評発売中　★小売価格￥600

13. 超時空要塞マクロス 1/100 アーマードバルキリー VF-1S



アーマードバルキリーのVF-1Sタイプを1/100で再現しました。各関節可動。メカファイル付。
★9月発売予定　★小売予価￥300

14. 超時空要塞マクロス 1/100 アーマードバルキリー VF-1A



アーマードバルキリーのVF-1Aタイプを1/100で再現しました。各関節可動。メカファイル付。
★9月発売予定　★小売予価￥300

15. 超時空要塞マクロス 1/100 アーマードバルキリー VF-1J



8月発売として予告しましたVF-1Jタイプですが発売が遅れて9月発売となりました。メカファイル付です。
★9月発売予定　★小売予価￥300

9. カワルドスーツ 百式

百式が変形して巡洋艦になります。カバンビームライフル、名札のおまけ付。
★9月発売予定　★小売価格￥300

10. ポケッタシリーズ



No.13　シルビア
No.14　タウンエース
No.15　ダットラ
No.16　ホンダF2
No.17　パジェロ
No.18　カマロ

★9月発売予定
★小売価格￥200

11. トラック野郎シリーズ

1/32スケール **男一世一代**
1/32スケール **御祭神輿太鼓**
1/32スケール **浮世旅がらす**
1/32スケール **恋愛別離人生**

★9月発売予定
★小売予価各￥3000

12. 超時空要塞マクロス 1/100 スーパーバトロイド VF-1S



劇場版に登場したバトロイドバルキリーVF-1Sのスーパーバージョンです。キットは1/100スケール。各関節可動。ガンポッド付き。バルキリーファンには必要不可欠のキットです。メカファイル付。
★9月発売予定　★小売予価￥500

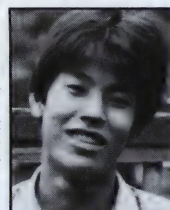
私は常連！ HOBBY SHOP REPORT

ホビーセンター・ムンド

●MJ臨時特派員／岡田秀幸

初めましてぼくのレポートしたお店は、千葉県我孫子市泉16—23にあるホビーセンタームンドです。それでは初めにぼくの自己紹介をはじめたいと思います。名前は岡田秀幸、昭和43年6月20日の17才、高校2年生、モデラー歴はまだ浅く3年ぐらいです。ぼくはキャラクター物しか作らず、それからバンダイのプラモデルしか作りません。スケール物はぜんぜんといって良いほど作りません。作ったことがありません。はっきりいってつくれません。それから尊敬する人は小田雅弘さんです。小田さんに聞きたいのですが、どうすれば小田さんみたいに、うまくプラモデルを作れるようになるのですか教えて下さい。あと私はフィギュアも好きです。特に北斗の拳の1/12スケールのケンシロウが好きです。ぼくは今2種類とも作っている途中です。出来上がったら写真を送ります。それから1/12のシリーズはこれからもどんどん種類をふやして下さい期待しています。あとスパイラルゾーンも期待しています。メカ類も1/12スケールでぜひ出して下さいねお願いします。それでは自己紹介はこのへんで。ぼくの行くお店、ムンドの紹介をしたいと思います。このお店の良い点はお店の感じが明るく、店番がおばさんであるということとこのおばさんがまた人柄が良く話が良くわかるおばさんなのです。それにプラモデルの知識がとても豊富なのです。お願いがあります。小田先生のサインを2枚ください。色紙を2枚同封しますのでお願いします。一枚はぼくのでもう一枚はお店に飾るのでぜひお願いします。あと、コミックボンボンでも有名なあの田中さんも来るお店なのです。つい最近までは田中さんの作ったガンダムMKIIが飾ってありました。とてもすばらしい仕上りでした。このお店が開店してからもう4年ぐらい過ぎているそうです。本当にこのお店はとても良い店です。全国のモデラーのみなさん、ぜひ一度来て下さいね。とてもいいお店ですよ。小田さんも一度来てみて下さいお願いします。







おもちゃの玉屋

●MJ臨時特派員／徳江剛史



こんにちは！まいつきはがきをだそうとしたんですけどちょっと事情があってだせませんでした。だからはじめてのおたよりです。とつぜんですが、自己しょうかいです。住所、学校名は書けません。毎月MJじっくりよんでます。名まえは、徳江剛史といいます。PRはさておき、おみせのことにうつります。ぼくのいく、店の中で一番いいお店です。プラモデルショップというよりおもちゃやです。一階と二階があって2階の2/3にプラ、HCMがあります。あとの1/3はプラカラー、Nゲージ、ミニカー、レジなどがあります。レジの所には、MJ、MOKEIに関する本がありますす。もちろんポスターなどもはってあって不自由なく（たまにない商品もある）買物ができます。例外なく一階も商品はそろっている一階にはBANDAIさんの商品ではありませんがチョロQ、コンバットジョー、多分スパイラルゾーン商品もとりいれてくれるでしょう。それに、とくさつのヒーローやちょうごうきん（ビスマルク、チェンジマンなど）もそろいにそろってます。お面、ソフト人形もれいがいではありません。このみせは埼玉なのに取り入れも早くなんといっても、みせの人がよくしゃべってくれるのです。埼玉の川越を代表しぼくはこのみせ（埼玉県川越市新富町サンロードのイトーヨーカドー前）おもちゃの玉屋をすいせんします!! ぼつは、いやだー。

レポート募集！

7月号で募集した「ホビーショップレポート」ですが、早速の応募ありがとう。今月のMJ臨時特派員は、岡田君と徳江君のお二人さんです。

モデラーにとって、いつも模型を買うお店って大切なんですよね。新製品の情報や、制作テクニックの知識を得たり、常連の人と友だちになって模型クラブを作ったり。つまり、モデラーにとってそのお店がホビーライフの中心になるわけです。そんな、自分の行きつけのお店のレポート募集です。MJ読者のみなさん、臨時取材員としてレポートして下さい。

◎応募規定

①紹介文——自己紹介とお店の紹介を四百字詰原稿用紙2枚以内にまとめて書いて下さい。

②写真——あなたとお店の写真数枚

③トレーナーの希望サイズを記入して下さい。

●あて先——〒424静岡県清水市袖師町702（株）バンダイ静岡工場 MJ編集部「ホビーショップレポート係」まで

採用記念のスパイラルゾーントレーナーです。



プラモ個性派倶楽部

VOL.8

もう夏休みも終わりですねェ。この夏はどこかに遊びに行ったかな？（編集部のオジさん達は仕事の連続なんだよ～）それとも部屋にとじこもって、プラモ作りに精進してましたかナ。ところで最近は似たようなアイデアのお葉書ばかりです。たまにはほかのジャンル（設定、イラスト、レポート、質問）で書いてみて下さいネ。それでは残暑きびしき折、新学期を前にしてのプラモ個性派倶楽部のスタートです。

■ガチャポン命

ガチャポンプラモも、ちょっとした気くばりで大変素晴しい物になります。特に後ろから見ると、とてもみにくい穴は、瞬間接着剤を流し込んで、スーパー液（倶楽部注：アロンアルファセッター、瞬間接着剤用硬化剤と同質の物です）という物をたらせば一瞬にして穴は埋ってしまいます。

又、ゆるんだ関接は、穴埋めと同じく瞬間接着剤を薄く塗ってスーパー液でかためます。

アンテナ類は、真鍮線やのばしランナーで作り直します。自信のある人は関節を増やしたり、フィギィアに改造してデフォルメフィギィアシリーズを作ったりしましょう。

岐阜市　梅田憲司(14)

ガチャポンも市民権を完全に得たようです。塩ビ製の物でも塗装は可能でしたが、なんと言ってもプラ製（ＡＢＳ樹脂）の登場のおかげで塗装や改造（削りやパテ盛り）が自由自在となったのが、発達の大きな理由みたいですね。ところでプラモ個性派倶楽部より皆さんにちょっとだけアドバイス。ガチャポンプラモのようにコンパクトな物は、パーティングラインをキレイに消し、白で下塗りをしてからアクリル系のカラーで仕上げると発色もよく、さらにフラットクリアやクリアなどを吹きつけ、ツヤを整えるとベストです。凝りたい方には透明パーツの多用をお勧めします。ガラス部分などは透明パーツにしてやると、ぐっと高級感が出ますヨ。

■スジボリ定規ですタイ

お早ようございますたい、ニコチャンプラモ同人会の緒方です。サァでは明日のメカプラ界をリードする技術を教えましょう!!スジボリをPカッターで行なう場合「ものさしつこうたのに、また曲がった～。」とならないように図Ａのようにスジをひきたい所に、プラ板の切れはしを両面テープでつけてラインを引くと、案外楽に引けますたい。曲面でも、ものさしではムリですが、プラ板（倶楽部注：厚さは0.5～1.0ミリが適当でしょう）は曲げられるので、やりやすいと思いますばい。また塗装時に、取っ手が無いパーツは、コンパスで裏から軽く刺したりして、粘土に活けたりするとよかばい。ところで一つだけ小田はんに質問、バンダイが発売するキットの原型（金型の）は誰が作っとるとですか？今月も最後に極めつけの一言「これをマスターすればプロたい!!」

熊本市　緒方の光太郎

ウームまたしても現れたかニコチャンプラモ同人会（ほとんどプラモ狂四郎の世界だなコリャ）。たしかに曲面にスジボリを行なうのは難しいのであります。プラ板の裏に両面テープを貼って、これをプラモの表面に貼り付けてPカッターを使えばラクにラインを引く事が可能になります。飛行機モデラーのように、もっと繊細な作業を必要とするようになると、胴体の断面ごとに熱した塩ビ板を押しあてて成形し、その部分専用の定規（カッターをあてがうラインの部分は、平にしておく）を作ってからスジボリをする事もあるようです。（やっぱり人間はラクをしていちゃいけないのです）さてもう一つの質問ですが、原型は作る場合と、そうでない場合とがあります。曲面の復雑なメカの場合は、立体試作をしてボリュームを検討しますが、普通は図面処理が多いようです。もっともフィギィアのような場合は、マスターといって原型から直接型に反転する事が多いようです。（石井和夫さんのダーティペアや、速水仁司さんの初代ゴジラ）

■伝導ケーブル

こんにちは、ぼくは最近やっと1／144ハイザックを買いました。全体的にはいいんだけど、どうも気になるのは腕から肩に伸びるパイプです。どうもさみしいので、パイプを5㎜ずつに切り、1㎜ぐらいのコードを通します。その上から色を塗ればいいわけです。（あまり動かすと色がはげます）図Ｂ参照。どうですか？これならへたくそなぼくでも簡単に出来るし、モビルスプリングより色や形が統一できると思います。

東京都大田区　鈴木　康史

このプラモ個性派倶楽部のお便りでも、最も多いのが手首とパイプ。この2つの問題はなんとか製品上解決できない物かと日夜考えているのです。（出来ない事はないらしいのですが、そのために物凄くキットの値段が高くなってしまうそうです）パイプの中にコードを通すアイデアは仲々良いのですが、曲げたときに内側のコードの細さが目立ってしまう感じですね。あの太さのままフレキシビリティを出すためにプラモファンの皆さんは悩んでいるわけです。もしポーズを固定してしまうのであれば、アルミ線が使えます。（太さも何種類かあるし、かなり自由に曲がります）間隔をおいて目立てヤスリでスジを入れ、プライマーを塗って塗装すれば完了。これはスーパーモデラー速水仁司氏の使用している方法です。

■スミ入れ

スミ流しのやり方を教えて下さい。それと表面仕上げを行なう前に中性洗剤で洗うと良いと聞いたので、パーティングラインを消し洗おうとしたら友達に「パテが割れてラインが出るぞ」と言われたので、不安になって手紙を書きました。

越谷市　クレア

クレアのだんなさん

スミ入れを行なう前に、まずラッカー系の塗料で塗装を終らせます。乾燥したら、エナメル系のカラー（流すスミの色を選択します。白、黒、グレー等）に少しだけシンナーを加え、スジに筆で流してゆきます（エナメルは伸びが良く、毛細管現象でミゾに流れてゆきます）生乾きから乾きかけのあたりでケバの立たないやわらかい布にシンナー（エナメル用）を少しふくませ、はみ出たところをふき取ります。それからプラモを洗ってもパテが割れてラインが出るような事はありません。おそらく友達のはパテを盛ったところの油分がとれておらず、そのためパテが割れたのでしょう。「水研ぎ」といろペーパーがけがあるくらいだから大丈夫です。人の言葉に惑わされずに、まず試してみる事です。そんな人に限って自分の落度を見落してる物なのです。

■ハイザックスーパーアクション

ハイザックを作る時図Ｃのように、太腿の付け根のスカートは切り取り、裏側から「布」（倶楽部注：手芸用のシルクが良いでしょう）でつなぐと動くようになります。これで良く動くハイザックの出来上り。

静岡県三島市　住吉　賢治

このアイデアは仲々面白いです。ただ耐久性とスカートの開き位置を固定できない（内側まで垂れ下がった場合のストッパーを考える必要あり）のが難点です。

左のハガキは京都市の宮森昇さんから送られてきたRX－185Eストライクガンダムの設定。もう少し大きく描いてくれたら良かったんだけど…。こういうのも受けつけますのでヨロシク。

▲RX－185Eストライクガンダム　京都市　宮森　昇

プラモ個性派倶楽部

★課題キットが少ないよ〜!







またもやブラッド・テンプルの登場。スケールは1/144よりもやや大きめだそうです。非常に仕上げもキレイで好感の持てる作品ですが、ヘビィメタルは、もっと美術彫刻風に迫ってみましょう。アクションロボットキットから脱皮させてね。　伊丹市　杉森　和人



東京都太田区の梶谷幸輝君、が送ってくれたのは、オリジナルアレンジのティターンズガンダムＭＫII。イラストでは良くありがちな線を、プラモの上で立体で表現しているのは、実に努力を認めますゾ。



近藤和久氏タッチのハイザックは柏市の金沢浩隆君。素晴しい仕上りです。



埼玉県は蕨市の高橋幹彦君（中2）が送ってくれたゼータガンダム・フルスクラッチビルド。スケールデータが不明ですが、作ってしまったエネルギーに評価をさし上げます。キットのディテールアップにも精を出してね。





少ない課題作品の中からは茨木県の川島幹男さんのエータガンダム改メゼータジム。パーツの寄せ集めですが仕上げはキレイです。もう少しデザインを整理しましょう。



富士宮市の外記忠洋さんの作品は1/144バッシュと掟破りのバスターランチャー。写真が小さいのがとても残念。もう少し塗装（ハイライトやシェイド）でメリハリをつけて。





港区の火踏生さんの送ってくれたのは、1/6ガウ・ハ・レッシィ。それもラテックス製のアクションドールです。材質の都合上、仕上げが難しくキレイとは言えないのですが、よくレッシィさんの雰囲気をとらえた作品です。

今月はページが減っちゃったよォ〜。課題のＭＫII用オプションやオリジナルモビルスーツ待ってますよ。お便りや課題作品の宛先は　〒424 静岡県清水市袖師町702 模型情報プラモ倶楽部まで。

★プラモ個性派倶楽部で採用された方には、記念品を差し上げます★

自販にまた新しい世界が。



SUPER DEFORMED SERIES
スーパーディフォルメ
ガンダムワールド

SUPER DEFORMED GUNDAM WORLD

「スーパーディフォルメガンダムワールド」続々の新登場！いま、よろこびのチェックリストを君に贈ろう!!

●塩ビ・2体組 ●￥100 ●武器パーツ付

MOBIL SUIT

GUNDAM RX-78-2
GUNDAM MARK II RX-178
Z GUNDAM MSZ-006
HIZACK RMS-106
RICK DIAS RMS-099
100SHIKI MSN-00100
MARASAI RMS-108
GALUBALDY β RMS-117
GUN CANNON RX-77-2
GUN TANK RX-75
GM RGM-79
BOWL RB-79
ZAKU OLD TYPE MS-05A
ZAKU MS-06F
CHAR'S ZAKU MS-06S
GOUF MS-07
DOM MS-09
RICK DOM MS-R-09
ACGUY MSM-04
GOG MSM-03
ACG EMS-05
ACGGUY MSM-04N
ZOGOG MSM-08
ZOGG MSM-10
JUACG MSM-046
Z'GOK MSM-07
CHAR'S Z'GOK MSM-07S
GELGOOG MS-14
CHAR'S GELGOOG MS-14S
GHIAN MS-15
ZIONG MSN-02

MOBIL ARMOR

G-ARMOR
MESSALA PMX-000
MAZELLAH ATTACK
ADZAM MAX-03
GRUBRO MAM-07
ZAKREO
BYGRO MA-05
BYGZAM MA-08
BRAWBRO MAN-03
ELMETH

MOBIL SHIP

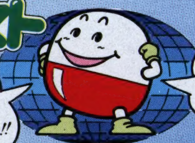
WHITE BASE AIRCRAFT CARRIER
SERAMSS
MAZELAN
MOUSEI
CHAR'S MOUSEI
GOUGH
MIDEA
ZANZIVAR
GUWAZIN

MSV

PROTOTYPE GUNDAM RX-78-1
GUNDAM FULL ARMOR FA-78-1
PERFECT GUNDAM
GUN CANNON II RX-77-4
GM SNIPER CUSTOM RGM-79
GM CANNON RGC-80
ZAKU II MS-06R
JOHNNY RIDDEN'S ZAKU II MS-06R
ZAKU MINE LAYER MS-06F
ZAKU CANNON MS-06K
ZAKU RECON TYPE MS-06E
ZAKU DESERT TYPE MS-06D
ZAKU MARINE TYPE MS-06M
ZAKU FLIPPER MS-06E-3
ZAKU TANK MS-06V
PSYCHOMMU SYSTEM ZAKU MSN-01
Z-TYPE ZAKU MS-06Z
PROTOTYPE DOM YMS-09
TROPICAL TEST TYPE DOM YMS-09D
GOUF FLYING TEST TYPE MS-07H
JOHNNY RIDDEN'S GELGOOG MS-14B
GELGOOG CANNON MS-14C
PERFECT ZIONG



2,099名様にステキなプレゼント!!
カプセル・ワイルド・コンテスト



詳しくはポスターをご覧ください。

株式会社バンダイ
特機事業部
東京都台東区駒形2-5-1 〒111 電話(03)842-5151(代表)
BANDAI

ふろーむ 模型 Mo Ke i 少年&少女



▲奈良県/野村幸司

あれこれ要望なぞを書かせていただきます。「スパイラルゾーン3D化」!!ついにやりましたね―!しかし反面泣きたい気分も……。何を隠そうスクラッチしてたのですよ、ブルソリッドを……。5月末から造り始めて、6月1日に6月号を開いたとたん、「スパイラルゾーンは……」と書いてあって写真まで……。思わずズッこけましたよ、店頭で。家でじっくりと読み返すと、1/12スケール……。「うおおお……俺のスクラッチと同じスケールどうわあ~~!!何々、36ケ所の可動?布製のスーツ?プロテクター・バックパックを装備して?か、か、完璧じゃないかあ~~!!まるでBANDAI製コ○ンバ○ト○ョウじゃないかあ~!!」と3日は落ち込んでしまいました……。こーなったら、僕と同じ立場の人の為にも、徹底してキット化してもらわなくては!フィギュアまで出せ、とは言いませんが、ブルソリッド、ハイパーボクサー、もう一つの人型、モノシードは絶対として、他に、ブロンコとマッドレミングも企画して下さいヨ!! PS:Zガンダムシリーズでは1/100ビャクシキを必ずキット化に!それと、可変モビルアーマーは可変を可能で!!

山形県/佐藤 朗

★スパイラルゾーンをスクラッチしてくれたなんてとてもうれしいな。そんなにガッカリしないで、プラモ個性派倶楽部に作品を送ってね。

私が初めて模型情報を買ったのは81年11月号からでした。あれから4年……。最近のバンダイは何をやっているのですか!?バイクは?ミリタリーは?ひこーきは?くるまは?特コレは?ベストメカコレクションは?

かのガンダムブームからはや6年がすぎました。当時私は小学校の4年生(5年生だったかな)でした。そしてその多感な少年期をガンダムを待つことによって過しました。模型情報のバックナンバーなんか見ているとただただなつかしさが……。

時代は変わった。眼から光線が出たり、腕が飛んだり、合体してロボットになったり、そういう安易な設定のもとでストーリーが展開していくアニメはなくなった。ただハードなえすえふだけが幅をきかせる時代にかわってしまった。と同時にバンダイも変ってしまった。ギャビオンは、シャリバンは、コジラは絶版かっ!ドルギランは企画倒れのままか!シャイダーネタはまったくなしか!私は1/100でギャリアを出せとか、ブラッカリィやドランをだせとか、1/72でビアレス、ライネックを出せとか1/350でウィンダムを出せとかH・C・Mでメーサー車やキングジョーを出せとかはいいません。ただ今のバンダイはZガンダムに片寄りすぎです。売れなければ商売にならないのはわかっている。しかし、私は許せないのだ。私はいわゆるアニメファンでした。しかし現在は特撮ファンです。アニメ界は腐っている。今この荒廃した世を救えるのは特撮しかない!故に私は特撮コレクションシリーズの継続を要望する。アニメキットが幅をきかせる現状が私には耐えられない。怪獣たちは待っている。限定でもかまいません。キット化して下さい。

バンダイと特撮に栄光あれ!

P・Sフィギュア期待してます。絶版情報なんてのもやってほしいのだ。

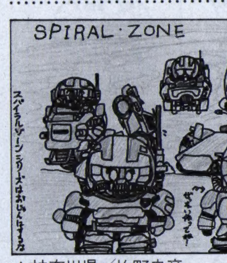
岐阜県/安永 寛

★特撮コレクションにはたくさんの意見、希望をいただきました。みんなの大好きな特撮はこれからもMJで取り上げていきます。期待してね。

バロムーのマッハロッドの改造に使った車は何か、それは日産フェアレディー600である。型式番号、SP・311、2シーターのフルオープンカーで、現在のZタイプとは全くの別物である。何故それがわかったのかと言うと、後のテールランプがオープンタイプフェアレディーのそれと同じなのだ。また、どうして1600かというと、1500ccタイプのSP・310だと3シーターで、しかも年式が古すぎる。そして、現にマッハロッドは2シーターだ。それもあるが、これは、まだ当時新しく、2000ccのSR・311と言うのソレックスキャブを2連装した高性能車をあそこまで改造したとは思えない。そんな理由から年式といい、程度といい、とにかくぴったりのフェアレディ1600があてはまるのだ。

明石市/天竹 隆

★ウ~ンそうだったのか、まるでパズルを解くようで楽しいですね。スクラッチの手掛かりにもなるね。



▲神奈川県/枚野良彦

前略、期末テストにも負けず、MJ7月号、マテリアルのZガンダム、エリアの小説を束ねて買ってきました。まず、マジンガーZ等が再販になるようで、パッケージは当時のままだそうですが、ガンプラのようにBANDAIマークを換えたりしないように。実は仲間内で旧バンダイマークのガンプラが大人気なのです。再販プラモもそのようにお願いします。

次に、1/6フィギュアが出るそうですが、ミンキーモモ、レッシィ様、エマ様等、顔も可愛らしく出来ていてめでたい限りなのです(リリス、エリア、マキ等も出ればよいのになあ)が、一つだけ問題があるのです!それはジョー君の言葉を借りるなら「高いもんにつくぜ」なのです。別にバンダイのプラモが高いと言っているのではないのです。しかし、1/6で約30cmにもなるキット(もちろん中空でしょうが)を生産すると、プラの量だけでも大変です。「世界の石油はあと30年」ということでもありますし、プラモのプラ材の使用量は表面積、すなわち長さの2乗に比例するので、小さいものを作れば長い間プラモが楽しめると思います。ということでフィギュアは1/12でも(というより1/12をメインにして)やって下さい。

ところでさっき「世界の石油はあと30年」を引用したのには、もう一つ理由がありまして、我々高校生にもなると、大型キットは作る時間もなく、部屋にも隠せない(最近は1/144でもって余している)ので、ぜひ1/250MSを造って下さい。イロプラ程度の出来でよいです。では健闘を祈ります。

P・S 1、怪獣ハンドブックVOL1を増刷して下さい!

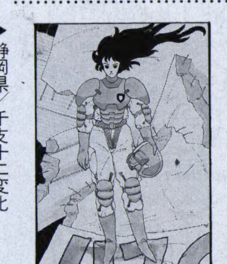
2、今日の北崎様のレポートはなかなか良いですが、そろそろ杉原様の出番もほしいものです。

3、フィギュアブームに乗って1/12宇宙刑事もよろしく!

高岡市/織田樹郎

★安心して下さい、1/6フィギュアはソフトビニール製になる予定です。あ!ビニールも石油製品か。

▲大阪府/星野広志


▶静岡県/千支十二変化

こんにちは、バンダイさん。始めてお便りします。さて、今回手紙を出すのはZガンダムのプラモデルの事についてです。どれもとてもいいプロポーションでいいと思いました。もう一つ欲を言うなら、マークIIのハッチが開かなかった事ぐらいでした。(やっぱ無理かな?) 本題に移ります。

Zガンダムシリーズでこんなキットがあったらいいのではないでしょうか。

その一は、Zガンダムオプションシリーズ。これは各モビルスーツのオプションを集めたキット。例えばマークIIなら、フライングアーマー、ハイパーバズーカ、白旗(第三話登場。青いガンダムが持っていたもの)、腕の取り付け部(第五話登場。カミーユがフランクリンを倒した時のもの)、シールドをスライドしたもの、ビームライフルのカートリッジ等をキットにするのです。他のモビルスーツは、ハイザックのミサイルポッド、ヒートホーク、ビームサーベル。百式では、メガバズーカランチャー等。またマラサイ、ネモ、ジムII、百式、ハイザック共通のバリュートシステム。結構いいと思いませんか?フルスクラッチの出来ない未熟な私(中一ですよ~ん)では、困ってしまうのです。

その二は、Zガンダムジオラマシリーズ、こいつはストーリーに出てきた名場面のジオラマセットです。モビルスーツ発進用カタパルトを備えたものです。

その三は、このたび初めて登場したリニアシートのキットです。これはリアルで最高。MJの読者の中でもそう思っている人は多いと思います。もう少しやればブリッジなどの戦艦、基地の内部もいいと思います。

長い間、わがまま聞いていただきましてありがとうございました。この中の一つでも実現していただきましたら幸いです。ではまた会う日まで、さようなら。

P・S 可変モビルアーマーもキット化していただけると思いますが、出来るだけ完全変形するようにして下さい。でないと面白くないです。

横浜市/島野 英巳

★それぞれの小道具の魅力がZガンダムの魅力なんですね。これからも楽しいアイデアをどしどし送って下さいね。


▲愛知県/坂井博之

こんにちは、ヴァンダイさん。初の投稿です。さてスパイラル・ゾーンのプラモ、仲々いいですね。特にファト・リンクスがカッコイイ。AFV&ミリタリー狂の僕は、ああいうメカはたまりません。僕としてはラジコンで出してほしいものです。(◯宮のファー◯ト・ア◯ック・バギーも買ってしまった)それにマッドレミングは、ディスプレイ用とモーターライズ(もち四駆)で出せばいいと思うのですが。それにD・モニターも……。モノシードはドライヴァー付き(マルチ可動じゃなくて固定ポーズのヤツ)で出してほしいと思っとります。ボウファイターなんぞもいいですね。それから「Z」シリーズですが、MK—IIいいですね!指まで動くとは……。画期的です。Zガンダムですが、変型させない方がいいと思います。機構が複雑になり、こわれやすくなり、外観も悪くなるのでは……と心配しとります。話は変りますが、プラモ個性派倶楽部、今、ミクロマンを改造してブルソリッドスーツを作っているとこです。それとエルガイムMK—II改、ウォーカーギャリア改などなど……。ギャリアは塗装をシブくしてあります。ギャリィ・ウィルとギャリィ・ホバーに変形、合体が可能なのです!!あとビルバイン改、これはノーマルタイプで体の各部がムギ球で光ります。機会があれば投稿したいと思っとります。(話はスパイラル・ゾーンに戻って)やっぱりファトリンクスはラジコンで出しましょう!!レーザービームガンも1/1で出して下さい。ウラシマンのナントカガン(名前忘れた!)みたいにビューンと金属音が出るようなヤツ、お願いします。では1/12ファトリンクス、ラジコンで出して下さい。絶対に!それでは、さようなら。乱筆乱文支離滅烈な文章をお許し下さい。

P・S 7月号の静岡プラモ見本市に出てた岩瀬さん作のファットリンクスのタイヤ、ファースト・アタック・バギーのタイヤじゃないですかあ?イナズマン・キカイダー・キカイダー01・ハカイダーのフィギュアを出して!!

福岡県/ディープ・パープル

★キミの作品の写真、ぜひプラモ個性派倶楽部に送って下さいね。それから「スパイラルゾーン」にアイデアをたくさん送って下さいね。

▲東京都/堀 俊之

メモリアルヒーローコレクションにぜひ『キカイダー01』を!!

▼滋賀県/米賀 実

ガイガン

模型化はどうなったのですか??

▲大阪府/流離人

う・う・う・やったねーバンダイさん!僕はひじょうにうれしい!MJ71号のFORUMの所を見て、な、なんと再販キットの中に、な、なんと僕の大好きな「リアベスヘシャル」が……。思わず涙が出て10分ぐらいボーゼンとしてしまいました。ほんとにうれしいですョ。実はバンダイにいささか不満はありました。1/100のギャリア、1/144のC・テンプル、アトール等、でもこれで許してあげ、いや感謝したいです。「ヒーローコレクション」の中に「宇宙からのメッセージ」のメカを、たとえば「ガバナス大戦艦や地球軍の戦艦等を!……。でも「スターウルフ」のバッカスIII世が入っていないのは残念です。これからもヒーローだけでなく、ああいった特撮ものも再販して下さい、ぜったい4つは買います。だから早く再販して下さい!

広島市/リアベの士戦

★発売されるまで、じっとガマンの子でいて下さいね。それから1/100ペパ—クラフト「ウォーカーギャリア」いよいよ発売です。近くの模型屋さんで買って下さいね。

▲広島県/いずみ・しん

前略、最近のバンダイさんと模型情報について少々言いたい事があります。まず、模型(アニメーション)についてですが、昔(ガンダムの頃)と比べると関節やディテールは良くなりましたが、いま一歩です。関節は十分なのですがディテールは全くダメです。(中にはたまに良いのもあるけれど)私はWMが最高だったと思いますが、そのあとダンバイン、エルガイム、Zガンダムは一部を除いてディテールが進歩していません。もう少し買う人が誰でも良い出来だと言えるプラモデルを出してほしいです。(実際は不可能ですけれど……)模型情報に関しては、まず「まさこのアニメみーはーグラフィティ」はどうしましたか?第一にこれが言いたい。第2に読者の書いたイラスト(カラーで書いてあるもの)をぜひカラーで!せっかく彩色しても白黒ではその絵の良さが出ない。スペースの都合からムリかも知れませんが、出来る限りの努力をして下さい。勝手な事ばかり書いてすみません。そろそろ終りにしたいと思います。では失礼。(乱筆、乱文すみません)

P・S マテリアルNO2、バイファムスーパーメカニックはまだ直送やってますか?

愛知県/中野 貴志

★きびしい意見ありがとう。肝に命じておきますね。それから、バイファム、エルガイム共、まだ直送やってるから安心してね。

▼広島県/木村 学

新・すぱいらるぞおん

模型情報 9月号

発行人	山科 誠
編集人	加藤 智
構 成	池田 憲章/岩井田 雅行 小田 雅弘/金田 益実 徳木 吉春/安井 尚志
表紙イラスト	開田 裕治
写真撮影	サンフォトサービス社
レイアウト	(株)藤森デザイン事務所

▼実写の「ゲゲゲの鬼太郎」を見て、まるで〝妖怪刑事〟という映画で、小林義明監督の撮っている楽しさをヒシヒシと感じた。何かを作るとき、はずむような楽しさを心に持つ人はとてもステキですね。(池田)

▼MJフォーラムのページで紹介した「東京女子高制服図鑑」を見ていて、思わず「東京女子高生フィギュア図鑑」が作りたくなった。MJマテリアルでどうでしょうか? うーむ、だんだんアブない方向へ行きそうだ。(徳)

▼8月初めに引っ越しました。誰にも言わずに秘密に事をすすめたのです。仕事が忙しいような顔をして、引っ越しの準備をすすめたけれど、いやー、疲れました。結局、あちこちの出版社の方に迷惑をかけました。皆さま、本当にゴメンなさい。しかし、新しい部屋は広くて、窓も南向きで、すこぶる快適です。(岩)

▼暑い!!うっただでさえ汗っかきなのに(その前に体質改善しないといかんなコレハ)。ところで次々と発売されるゼータガンダムのプラモを皆さんは作ってますかな?MSVのリボックスシリーズには武器(新設定の)が付いていないのが残念。おねがいしますよバンダイさん!(とブツブツ言いながらも作ってしまう私)まあいいや、とにかく他にも作る物一杯あって嬉しい今日この頃でした。(小田)

▼ワンダーフェスティバルに参加しましたが、ガレージキットの流れは完全にフィギュア中心となっていました。思えば一年前の今頃、MJマテリアルNo.1プリティフィギュアの編集準備をしていたんですね。フィギュアブームは、ある程度予想していたんですけど予想以上の盛り上がりを喜んでます。ところで、ワンダーフェスティバルには、取材ではなく売り子としての参加だったんですが、用意した部数は2時間で完売してしまいました。自分の作った本が右から左へ売れる光景は気分の良いものです。(安井)

▼模型情報に配属されて、ようやく一ケ月です。大勢の関係者の方々にお会いして、緊張するやら、うれしいやら、驚くやらで大騒ぎです。ところで、島津冴子さんの撮影は、一部関係者の熱烈なカメラアイに見守られ無事終りました。くわしくは19ページを見て下さい。(安蒜)

▼8月初旬のある日、帰宅したら我家のダイちゃんが庭で倒れていた。後足が全然動かないので、あわてて病院へ連れていったら「もう治りません、安楽死させてやった方が……」と言われた。別の病院へ行って見てもらったら一週間の入院で完治とまではいかないが何とか回復してきた。しかし、最初に行ったヤブ医者め!二度と行かないぞ。(加藤)

★模型情報は模型店・玩具店でお買い求め下さい。尚、当社直送をご希望される場合は、代金(半年間900円、一年間1800円)を現金書留か郵便為替で同封の上、住所・氏名・生年月日・電話番号・何月号から希望するかを明記の上、お申し込み下さい。

●〒424 静岡県清水市袖師町702 (株)バンダイ静岡工場 MJ編集部・定期購読係まで

模型情報 73

模型情報9月号 昭和60年9月1日発行（毎月1回1日発行）第6巻第9号通巻73号 昭和59年10月26日第3種郵便物認可
発行人・山科誠 編集人・加藤智 印刷・小野美術印刷 発行所・〒424静岡県清水市袖師町702㈱バンダイ静岡工場 電話0543(65)5362(代) 定価一〇〇円

ITC作品がレンタルオープン！

エモーションから発売されているITCシリーズのビデオ作品が8月1日よりレンタルがオープンになりました。レンタル対象作品は以下の通り。まだご覧になっていない作品がありましたら、この期に急いでレンタル店へ。
なお、海賊版にはご注意ください。
〈レンタル対象作品〉
●スーパーカー●スペース1999●ジョー90
●宇宙船XL-5●キャプテンスカーレット
●サンダーバード●海底大戦争(スティングレイ)
●コンプリート・サンダーバード
●謎の円盤UFO●プリズナーNo.6

9/5発売 コンプリート・サンダーバード（日本語版）



サンダーバードの集大成ビデオが遂に登場！TV放映32話より名場面をピックアップ。国際救助隊メカのディテール、数々の登場メカ、迫力の特撮シーンなど完全収録。
カラー90分 モノラルHifi ¥12,800
※「コンプリート・サンダーバード」の価格が編集の都合で変更になりました。

ITC SPECIAL WORLD

緻密な特撮映像で見る者を鮮烈のSF空間へと誘うITC作品群。エモーションでは、スーパーマリオネーションの最高傑作「サンダーバード」から、ライブアクションシリーズの代表作「謎の円盤UFO」に至るまで、その全アイテムを完全ビデオ化。画面狭しと迫真の戦闘シーンを展開する数々のメカニック群。そして、スリルとサスペンスに満ちた手に汗にぎるストーリー。SPFXファンなら誰しも驚嘆する名作ばかり。待望の新作も続々と登場。ご期待ください。

特報

完全オリジナルビデオ
『ダーティペア』製作決定！乞うご期待!!

楳図かずおスペシャル
オリジナルSPFXムービー
「うばわれた心臓」クランクイン！



恐怖マンガの第1人者楳図かずお原作の「恐怖」を、「アギ～鬼神の怒り」の早川光監督が実写映像化。特殊メイクが圧巻の異色作品。

10/28発売予定
「ウルトラセブン」
シリーズLD化決定!!



●姿なき挑戦者
●緑の恐怖
●湖の秘密
●マックス号応答せよ
TV放映1～4話を完全収録。豪華資料集付。

NEWS
DAICON FILM PRESENTS
「ヤマタノオロチの逆襲」制作快調！
エモーションがビデオ化権獲得!!ご期待ください。

9月28日発売予定の新作アイテム

VIDEO		
●プリズナーNo.6	カラー100分	¥13,800
●サンダーバード(日本語版)	カラー100分	¥13,800
●アニメサウンドファンタジー	カラー 40分	(予)¥ 9,800

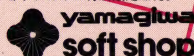
LD		
●キャプテンスカーレット[2]	カラー105分	¥ 9,800
●ファンタスティック・プラネット	カラー 72分	(予)¥11,000
●ダロス・スペシャル	カラー 90分	(予)¥12,000

※クリィミーマミ「カーテンコール」は発売延期になりました。

限定発売！ITCタイトル集ビデオ

9月10日より発売予定

エモーションではITC作品群の貴重なオープニング＆エンディングタイトル集ビデオ(30分¥7,800)を企画。ヤマギワソフトショップのみの特別限定販売。



〒101 千代田区外神田4-1-1 ☎(03)253-2111(代表)
なお、通信販売でも受付中！住所、氏名、年齢を明記の上、送料500円を添えて、上記宛先まで。必ず現金書留で。

SUPER MARIONATION SERIES

サンダーバード
[1][2][3]カラー105分¥15,800
[4][5][6]カラー100分¥13,800
LD[1][2]カラー105分¥9,800
VHD[1][2]カラー105分¥9,800

スティングレイ
[1][2]カラー105分 ¥15,800
LD[1]カラー105分 ¥9,800
VHD[1]カラー105分 ¥9,800

キャプテンスカーレット
[1][2]カラー105分 ¥15,800
LD[1]カラー105分 ¥9,800

ジョー90
カラー105分 ¥15,800

スーパーカー
[1]モノクロ100分 ¥13,800

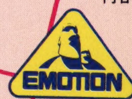
宇宙船XL-5
[1]モノクロ100分 ¥13,800

LIVE ACTION SERIES

謎の円盤UFO
[1]カラー105分 ¥15,800
[2]カラー50分 ¥ 9,800
[3][4]カラー100分 ¥13,800
LD[1]カラー100分¥ 9,800
VHD[1]カラー105分¥ 9,800

スペース1999
[1]カラー120分 ¥15,800
[2][3]カラー105分 ¥15,800
LD[1]カラー112分¥ 9,800

プリズナーNo.6
[1][2][3][4]カラー100分¥13,800



●お問合わせ☎(03)468-8211
●販売代理店／株式会社AE企画
●発売元／東北新社
●販売元／バンダイグループ
㈱ネットワーク・フロンティア事業部
東京都渋谷区神山町10-3〒150